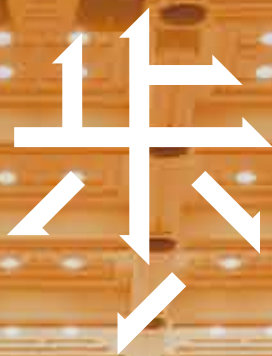


地域の
明日をよむ

Through FFG's Kyushu network,
we share insights and success
stories—brightly lighting the
"next step" for business leaders
and communities.



1

2026 Vol.178

新年のご挨拶

— FFGの新たな「理念体系」と「長期戦略」について —
株式会社 ふくおかフィナンシャルグループ 取締役社長 五島 久

Top Interview

有限会社 丸昌 焼肉の大昌園 代表取締役 密城 英成 氏

地域と共生するFFG
九州交響楽団



懐かしい
情景を
探して

Looking for a nostalgic scene

体力を占う初詣



▲山門



▲きじ車



▲本堂への最後の石段



▲なで仏

●本吉山 清水寺

住所：福岡県みやま市
瀬高町本吉1119-1

九州オルレの
ホームページは
こちらから



初詣には混雑する神社を避けて、みやま市瀬高町の本吉山清水寺へ行く。山寺への参道は昼間でも樹木の陰になり薄暗く、苔やシダ類の繁茂する冷気に満ちた登り坂は新年には良い清々しさだ。九州オルレ(※)「みやま・清水山コース」の一部にもなっており、山腹の無料駐車場から本殿までには、五百羅漢像や仁王門、山門、長い石段が待ち構えている。ゆつくり歩きで30分、本殿に到着した時の疲れ具合で毎年の体調を占っている。

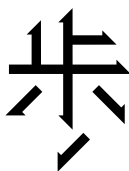
初めて訪れたのは高校卒業のハイキング。どうやって来たのかは憶えていないが、晩秋の清水寺は紅葉で彩られていた。本殿の横の「なで仏」は今も参拝者から体中を撫でられている。あの頃は頭と顔を撫でたものだが、今熱心に撫でているのは足腰だ。

※「オルレ」は九州島の言葉で「通りから家に通じる路地」という意味。自然を満喫するトレッキングコースとして九州には18のコースがある。

(文・阿井川 圭)

地域の
明日をよむ

Through FFG's Kyushu network,
we share insights and success
stories—brightly lighting the
"next step" for business leaders
and communities.



2026.1 VOL.178

Contents

懐かしい情景を探して
体力を占う初詣

2 新年のご挨拶

—FFGの新たな「理念体系」と「長期戦略」について—
株式会社 ふくおかフィナンシャルグループ 取締役社長 五島 久

Top Interview

6 有限会社 丸昌 焼肉の大昌園 代表取締役 密城 英成 氏

12 特集

CIC Fukuoka ×
Fukuoka Growth Next × FFG

18 さすてなぶる九州

医療法人 玉昌会 理事長・総院長 高田 昌実 氏

24 bank baton

地元企業と一風堂がコラボ。
宗像特産の甘夏の苦味を生かした
塩ラーメン開発ストーリー。

28 地域と共生するFFG

九州交響楽団

34 COMPANY profile **NEW!**

アリウェル 株式会社(旧：福岡商事 株式会社)

46 海外展示会セレクション

48 九州企業のサステナビリティ

株式会社 中園 代表取締役 中園 博光 氏

54 FFG Victory Road NEWS

「第15回 ふくぎん少年少女テニス大会」開催!

55 長崎だより

神田雅楽



福岡シンフォニーホール(福岡市中央区)
画像提供:アクロス福岡

Back Number

本誌のバックナンバーは、ふくおかフィナンシャルグループの
ホームページにてご覧いただけます。



謹賀新年 2026

一歩先を行く発想で、
地域に真のゆたかさを。

新年のご挨拶

—FFGの新たな「理念体系」と「長期戦略」について—



株式会社 ふくおかフィナンシャルグループ 取締役社長
株式会社 福岡銀行 取締役頭取

五島 久

明けましておめでとうございます。

皆さまには日頃から傘下の子銀行をはじめとするふくおかフィナンシャルグループ各社をご愛顧いただき、ありがとうございます。

本年も、皆さまにとって最も信頼される金融グループであり続けるため、役職員一同、精一杯努力します。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年を振り返れば、私自身の長年のテーマであった「FFGの好循環」と「社員の好循環」、それをつなぎ合わせるための「理念体系」を整えることができました。(図1)

具体的には、これまで私たちが大切にしてきたブランドスローガン「あなたのいちばんに。」を“価値観”として再定義し、“存在意義”を「一歩先を行く発想で、地域に真のゆたかさを。」として新たに決めました。そして、この二つを最上位の「概念」と位置づけ、その発揮に向けた価値創造ストーリーとして10年間の「長期戦略」を、そして、これらの先にある“創りたい社会”を「経済的・物質的・精神的にゆたかな地域社会」と決めました。(図2)

私が社長就任当初から思い描いていた、すべてのステークホルダーの皆さまに共感いただくための“未来への物語り”が、FFGの「理念体系」と「長期戦略」としてようやくカタチになり走り出しました。

FFGの「理念体系」

“物語り”の根幹ともいえるFFGの「理念体系」についてお話しします。

わたしたちの価値観「あなたのいちばんに。」

FFGを設立(2007年)以来ここまで、私たちの志(ブランドスローガン)として社員全員で大事に育ててきました。大切な“あなた”である全てのステークホルダーにとって、「いちばん身近で、頼れて、先を行く」存在でありたいという想いです。これからも「わたしたちの価値観」として、日々意識し、実践します。

FFGの存在意義「一步先を行く発想で、地域に真のゆたかさを。」

■存在意義の前段「一步先を行く発想」

FFGがこれまでの歴史で培った強み・ユニークさです。「FFGらしさ」と言っても良いでしょう。お客さまや地域の未来を考え伴走する姿勢、常に変化を先取りして先進的な取り組みにチャレンジする企業風土です。

■存在意義の後段「地域に真のゆたかさを。」

私たちの地域への貢献であり、「FFGは何のために存在し、何を為すのか?」という根源的な問いに対する答えです。

私たちが人生において最終的に求めるものは、多くの人が「幸せ」と答えると思います。経済的な不安がなく、物やサービスが満ち足りる暮らしの中で、心ゆたかに日々を送る。そんな「幸せ」を、誰もが実感できる。これが「**真のゆたかさ=経済的・物質的・精神的ゆたかさ**」の意味であり、私たちが為すべき地域への貢献です。

理念体系を伝える「ブランドブック」

これらのFFGの「理念体系」を社員一人ひとりが“自分事”として捉えてもらうためにブランドブックを作りました。FFGの理念体系を共有し、日々の判断や行動の「よりどころ」に。そして、ここに記された“未来への物語り”を自分の成長と重ねあわせ、すべてのステークホルダーの幸せに

貢献しようと努力することが、ゆたかな地域社会の実現をもたらすものと確信します。



ブランドブック(イメージ)

FFGの長期戦略

「長期戦略」は、存在意義の発揮、つまり地域の「真のゆたかさ」実現に向けた10年間のロードマップ（成長戦略）です。環境変化とそれに伴う地域への影響を踏まえて、私たちが能動的に解決に取り組むべき重要課題をマテリアリティとして定義しました。マテリアリティは、「地域の産業振興」「人生100年時代への対応」「デジタル社会への対応」「気候変動への対応」の4つです。これらのマテリアリティを解決するために、金融サービスにとどまらず、GXやDX、スタートアップ支援などを通じて新たな価値を創造し、地域社会の持続的成長に貢献します。

地域の皆さまが「幸せ」を実感しながら日々を送る。そんな「真にゆたかな社会」をステークホルダーの皆さまと一緒に創りたいと思います。

今年も、「地域の産業振興」と皆さまの「ゆたかな生活の後押し」に貢献するべく、役職員一同積極的に活動します。どうぞよろしくお願いいたします。

図1.「企業の好循環」と「個人の好循環」、それをつなぐ「理念体系」

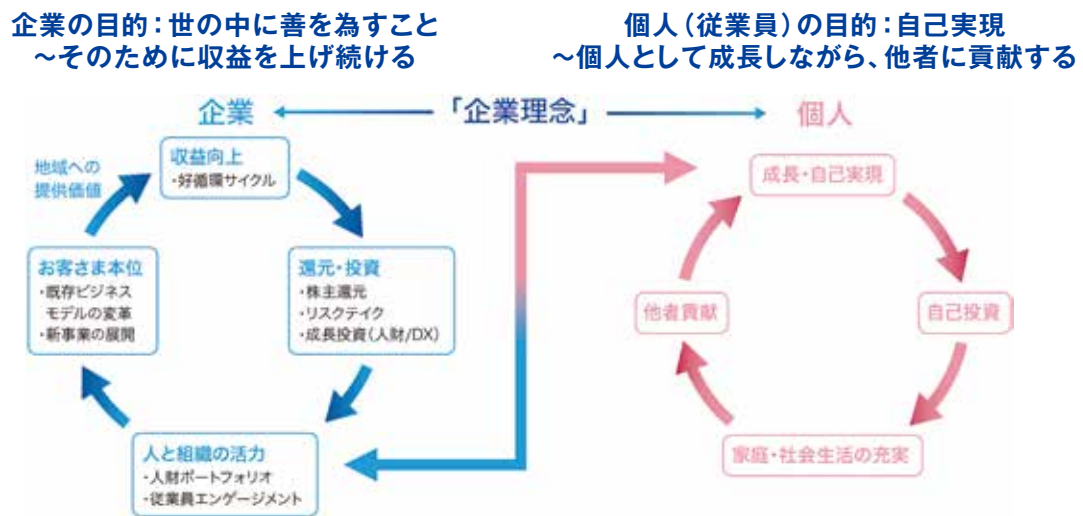
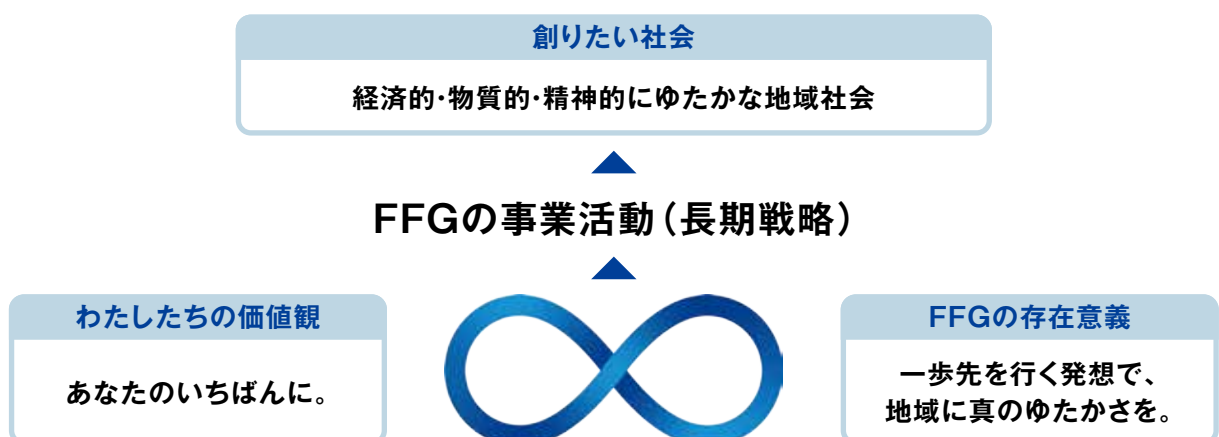


図2.創りたい社会とFFGの事業活動





 熊本銀行

創業から半世紀を超え、

人々の心を満たすサービスで

地域に必要とされる焼肉店。

有限会社 丸昌

まるしょう
たいしょうえん

焼肉の大昌園

代表取締役

密城 英成 氏

みつしろ

ひでなり

取引店／熊本銀行 久留米支店

福岡銀行 久留米営業部

■会社概要

創業:1969年／設立:1998年／所在地:福岡県久留米市／資本金:3,000万円／従業員:485名(2025年10月末現在、パート・アルバイト含む)／事業内容:「焼肉の大昌園」の運営、精肉加工、お弁当・デザート等の製造・販売、業務用食材卸／店舗:久留米本店、文化街店、上津店、小郡津古店、佐賀兵庫店、太宰府筑紫野店、セントラルキッチン(久留米市)

会社ホームページは
こちらからどうぞ！





焼肉の大昌園 太宰府筑紫野店前(左から密城社長、坂本頭取)

ホルモンの小売業と 小さな食堂が大昌園のルーツ

創業から今年で56年。「大昌園」の創業者は父である密城忠信^{ただのぶ}で、祖父が手がけていたホルモン焼き用の肉の配送業務を手伝ううちに、ホルモン食堂を始めたのが当店のルーツです。当初は西鉄久留米駅前でホルモンの小売業と食堂を営んでおり、1972年に店舗を現在の六ツ門町^{むつもんまち}へ移し、「焼肉の大昌園」の看板を掲げて営業を開始しました。

六ツ門町の土地を取得する際には、肥後相互銀行（現…熊本銀行）からお金を借りる段取りで話が進んだものの条件面のトラブルから白紙になりかけ、銀行側の担当者がずいぶん骨を折ってくださったと聞いています。その後も銀行の方は毎日のように店を訪れてくださっていました。当時は店舗の2階に自宅があり、まだ子どもだった私は、時々遊んでもらったものでした。今では考えられませんが店舗の周囲は田畑ばかりで、夏になるとカエルの大合唱が聞こえてきたのを今でもよく覚えています。

後になって、出店や店舗の建て替えなど、事業の節目節目で地域の多くの方々のお世話に

なつたと、父から何度も聞かれました。そうした経緯から、父も当初より、恩返しのように地域に親しまれる店になるよう努めてきたのだと思います。

現場社員と力を合わせて 改革を打ち出しファン層を拡大

子どもの頃から店の手伝いをしてきた一方で、「跡継ぎ」の長男である私は、学生時代までは「家業を継ぎたくない」と考えていました。親戚一同からも当然のように店を継ぐものと思われ、幼少期からそんな話ばかりされて、嫌気がさしていたところがあったのかもしれない。

それでも、大学を卒業する年に起きた阪神淡路大震災の復興ボランティア活動に行ったのが縁で、兵庫県の韓国料理店で修業を始めることに。専門学校などに行く道も考えたのですが、私が子どもの頃から兄のように慕う大昌園のスタッフたちのアドバイスもあり、他のお店で修業をすることになりました。「久留米へ戻るのはせめて3年ほど経験を積んでから」と思っていたのですが、本店のリニューアルの話が持ち上がった関係で、2年で戻ることに



5



3 1



6



4 2





密城社長

なりました。休業期間は短かったものの、それまで地方の焼肉店ではあまり見られなかった繊細な料理・サービスに対する見識を多少なりとも身に付けることができ、その後の当店のメニューや運営方法の改善に役立てることができました。

入社後、私は「大昌園」の新たな魅力を生み出す取り組みとして、各現場のエキスパートたちとさまざまな施策に着手しました。創業者の父は、経営に関して揺るぎない信念をもった人でしたが、私たち「若い世代」の挑戦に対しては、厳しい言葉を投げかけつつも、大局的に温かい眼差しで見守ってくれました。

たとえば、本店全面改装後に始まった店舗拡大で、店舗ごとの味のばらつきが起りやすくなる状況の対策として、頼りになるスタッフ

とともに推し進めたのがセントラルキッチン建設です。2005年にセントラルキッチンが完成すると、精肉を始め、タレ、キムチ、牛チールスープの仕込みを一元管理でおこなうようになり、各店舗の仕込み作業の負担は軽減。これによって、お客さまからご要望の多かったセットメニュー、ランチメニューを充実させ、会社員や女性グループなど新たなファン層の獲得につながることができました。

また、創業以来30年間、メロンのみだったデザートに関して、セントラルキッチンにデザート室を設置し、シャーベットやアイスクリーム、そしてバースデーケーキなどの製造をスタートさせたのも、大きな転機でした。さらに2012年にはデザート部門を拡大して「ちっごおかし工房ピミル・オルペミ」を設立し、アイスクリームの自社開発に乗り出しました。ピミル・オルペミのアイスクリームは同業者にも人気が高く、現在では焼肉協会を通じて岐阜、大阪、広島、熊本など他県の焼肉店を始め、近隣の道の駅にも卸販売を展開しています。

こうした事例をきっかけに、当社の卸販売はほかの食品にも及び、コロナ禍で飲食業界が大打撃を受けるなか、業務用卸は当社の事業の柱の一つとして成長する機会を得ました。



1.対談風景／2.3.4.厳選されたカルビ・ロースを試食／5.焼肉店には珍しい半円形テーブル／6.宴会場は可動式パーテーションを使用しさまざまな人数に対応／7.自慢のスープを試食／8.キッチンを見学／9.左上から特上カルビ、特上ロース、チゲ、「ちっごおかし工房ピミル・オルペミ」のケーキ、アイスクリーム／10.セントラルキッチンでの作業風景／11.企業メッセージ





前列左5人目から密城社長、坂本頭取、坂口支店長(熊本銀行)

創業者に学んだ経営手腕と 並々ならぬ覚悟

創業者の密城忠信は、私が代表取締役就任した2014年に他界しました。私は幼い頃から大昌園で忙しく働く両親の姿を見ていましたので、成長するにつれ、父を「経営の神様」、母を「料理の師匠」と、より実感するようになりました。とくに、自分が二代目経営者となった今では、創業者の言動を振り返り、あらためて指針とする局面もあります。

大昌園にとって最大の危機となった2001年のBSE騒動では、全国的に牛肉の消費が激減し、客足が戻るまで丸一年かかり、当社は深刻な事態に見舞われました。そんな時も先代は「みんなの生活がかかっているから」と、社員はもちろん、アルバイト学生の一人もクビにすることなく、覚悟をもって私たちを導き、力強く前進を続けました。その結果、積み重ねてきた信頼と、従業員全員の努力によって、難局を乗り切ることができたのです。

また、2010年に小郡津古店おのりつこをオープンさせた直後、先代は5店舗目となる佐賀兵庫店の開店に向けて手綱を緩めることなく走り続けました。その時はあまりのスピードに「もう

少し間隔をおいてもいいのでは」と、私は意見しましたが、後になってそれが、政権交代による建設費および資材費の高騰を見越した判断であったことがわかり、先代の経営手腕の凄まじさを思い知りました。

時が移って令和となった2019年、大昌園は創業50周年を迎えましたが、先代はきつと空の上から「50年やらまだひよっこたい」と、憎まれ口をきいていることと思います(笑)。

地域貢献への取り組みが 企業の成長を後押しする

大昌園は2025年12月、6店舗目となる^{ださいふちくしの}太宰府筑紫野店を新たにオープンいたしました。当社の出店戦略として、「王道とされる幹線ロードサイドへの出店ではなく、どちらかというと一本裏道」に店を構えることで、「立地」にお金をかけず、「人」と「食材」を重視するスタイルを貫いてきました。

太宰府筑紫野店もまた、そうした観点から出発した出店ですが、このエリアの特徴の一つとして「学生街」が挙げられます。当社では、多くのアルバイト学生が店舗運営の第一線を支えています。店舗を運営していくことで必然

的に生まれる雇用は、地域の活性化とともに、人々の地元へのさらなる愛着をもたらします。

私たちは、地域とのつながりこそ私たち自身の成長を促す糧と考え、その時その時で、自分たちにできる地域貢献活動に力を注いできました。地域の子ども食堂への寄付、コロナ禍における医療機関へのお弁当の提供、少年サッカー大会「大昌園杯」の開催、福祉施設の方々を無料招待する「焼肉ボランティア」、被災地の復興支援、学校での料理教室など、さまざまな取り組みを通じて地域との絆を育んでいます。

食のプロフェッショナルとして 100年企業へ

「企業は100年続いて一人前」といわれませんが、日本に焼肉文化が到来してまだ80年も経っていないため、焼肉店として1世紀を超えた企業はありません。当社もようやく半分の50年を超えたところで、ある意味で「第二創業期」に入ったといえます。「空腹を満たす事業」から「心を満たす事業」へ。この筑後エリアに焼肉文化を根付かせてきた叡智とノウハウをもとに、プロフェッショナル集団として100年企業となるべく挑戦を続けていきます。

■ インタビューを終えて

熊本銀行 取締役頭取 坂本 俊宏



外食産業において比較的歴史の浅い「焼肉店」というジャンルで創業半世紀を超えた事実は、企業としての長年のたゆまぬ努力を示すものです。大昌園は、佐賀牛を中心とした国産牛のみにこだわり、地場畜産業者との連携を密にしながら肥育の状況も把握。食の安全性がより厳しく問われるようになった近年、牛トレーサビリティ制度に則った仕入れをおこなって、流通経路の信用度の高さを誇っていると伺っています。当行とも約半世紀にわたるお付き合いがあり、太宰府筑紫野店のオープンもサポートさせていただきました。さらなる半世紀先の創業100年へ向けて、地域活性化の原動力となり邁進されますよう願っています。

福岡市が「スタートアップ
都市ふくおか」を宣言した
のは2012年。以来、国内
外の起業家やベンチャーの誘
致・育成、成長支援が活発に
行われています。2020年

Special Conversation

【新春特別鼎談】
CIC×FGN×FFG



CIC Fukuoka
ゼネラルマネージャー
しみず くに ひこ
清水 邦彦 氏



Fukuoka Growth Next
事務局長
いけ だ たかのぶ
池田 貴信 氏



福岡銀行
ソリューション営業部
もり なが りょう
森永 良 部長

には内閣府が進める「世界に伍するスタートアップ・エコシステムの拠点形成戦略」において「グローバル拠点都市」に福岡市が選定され、九州各地でもピッチイベントが開催されるなど、その機運は一層高まりを見せています。

今回、官民共働型スタートアップ支援施設「Fukuoka Growth Next (FGN)」の事務局長・池田貴信氏、イノベーション拠点「CIC Fukuoka」のゼネラルマネージャー・清水邦彦氏、そしてFFG福岡銀行ソリューション営業部・森永良部長に、FFGのイノベーション創出施設「GROWTH I」を舞台に、福岡におけるスタートアップ支援の現状と今後の展望についてお話を伺いました。



GROWTH Iサロン(左からFGN・池田事務局長、CIC・清水ゼネラルマネージャー、福岡銀行・森永部長)



CIC Fukuoka 清水ゼネラルマネージャー

スタートアップ支援で

『アジアの玄関口』を目指し

イノベティブな都市、福岡へ

―起業・創業支援に対する、それぞれの目的・役割についてお聞かせください。

福岡銀行 森永良部長(以下、森永部長)

長) FFGでは、2017年より子会社のFFGベンチャービジネスパートナーズを中心にスタートアップへの資金支援・成長支援を行っています。本日お二人にお越しいただいた、ここGROWTH Iは、スタートアップと

地域企業が交わる場として2023年にオープンしました。開設から2年で開催イベントは400件を超え、地域や業種を越えて人が集まる場として定着しつつあります。今後はCIC、FGNと連携しながら、福岡・九州全体で次のステージを見据えた支援の形をつくっていきたいと考えています。

CIC 清水邦彦ゼネラルマネージャー(以下、清水GM) CIC

ケンブリッジ イノベーションセンター
(Cambridge Innovation Center)

はアメリカでスタートし、スタートアップ支援に特化したコミュニティ型シェアオフィスを運営しています。起業家、大企業、VC(ベンチャーキャピタル)・CVC(コーポレートベンチャーキャピタル)・投資家、行政機関、そして大学という5つのプレーヤーを集めて有機的な交流を生み、スタートアップが成長する生態系、いわゆるスタートアップエコシステムの形成を目的としています。CIC Fukuokaはオープンから半年間で約90社の入居があり、現在も多くの申し込みが続いています。CICのアジア2拠点目

となる福岡で、地域コミュニティの熱と濃度を高くする取り組みを進め、東京―福岡間の好循環と、福岡発のグローバル展開を期待しています。

FGN 池田貴信事務局長(以下、池田事務局長)

FGNは、福岡市と福岡地所株式会社、さくらインターネット株式会社、GMOペパボ株式会社、フォースタートアップス株式会社の5者による官民共働事業として、福岡市とともに、スタートアップエコシステムの土台づくりや、起業家の育成、サポートを担っています。FGNが支援したスタートアップのうち、資金調達に成功した企業はのべ110社、その累計調達額は約490億円に達しました(2024年12月末時点)。またスタートアップエコシステムを成長させるためには、新しいチャレンジをする人や企業を発掘し、成長の場を提供するための「裾野の拡大」もあわせて進めていく必要があります。そのうえでFGN内にある「スタートアップカフェ」では創業を志す方をサポートし、その役割を果たしています。

CIC Fukuoka



『起業家のために作られた“イノベーションの発進基地”』

■オープン: 2025年4月

■所在地: 福岡市中央区天神1-11-1 ONE FUKUOKA BLDG.7階

■施設概要: 米国マサチューセッツ州ケンブリッジ市発のイノベーション拠点CIC(Cambridge Innovation Center)による、東京に次ぐアジア第2拠点目のイノベーションハブ。スタートアップの成長を支援。





Fukuoka Growth Next 池田事務局長

「スタートアップエコシステムの構築・活性化に向けた取り組みについてお聞かせください。」

池田事務局長 3年前まではFGNが中心となって広範囲なスタートアップ支援を提供してきました。しかし現在ではGROWTH Iや、CIC Fukuokaが誕生したことで支援のプレーヤーが増え、スタートアップエコシステムが大きく広がってきたと感じます。

清水GM CICのベンチャーカフェでは、人と人を繋ぐ「Thursday Gathering」

というイベントを毎週木曜日に開催しています。参加は無料で、どんなでも大歓迎、ドリンク片手に活発な交流が楽しめるネットワーキングも好評です。他にも、およそ40組の起業家が3分間のピッチ形式で次々にビジネスアイデアを披露し、資金調達や支援者の獲得を目指すフラッグシップイベントを2025年12月11日に開催しました。何かやりたいと思ったら、最初は難しく考えずに、こういったスタートアップを醸成する場の空気に触れてみるだけでもよいと思っています。そういう意味でも「ここに来れば何かできる」と感じてもらえる場所づくりと周知が必要ですね。

池田事務局長 おっしゃるとおり、一人で悩んでも何も進みません。「こんなアイデアだけど誰に相談したらいいの?」と悩んでいる人こそ、イベントやミートアップに参加して恥ずかしがらずに人と話してほしいです。起業家の悩みを解決するには、経験者から直接、成功例や失敗例を聞くことが非常に有益で、そこから自分なりの道が見えてくるものだと思います。

森永部長 近年は事業承継問題も増え、銀行として地域企業の新しい挑戦や人材マッチングの相談を受ける機会も多くなっています。これからはCICやFGNとさらに連携し、スタートアップやそこで生まれる新しいビジネスを地域企業につなげていく動きを加速させたいと考えています。将来を見据えて新規事業を模索する企業も増えており、そうした企業が安心して挑戦できる土台が福岡に整いつつあるのは心強いことです。

また、九州ではTSMCの熊本進出を契機に半導体ビジネスが盛り上がりを見せていますが、半導体エコシステムを構築する上で、ICデザイン企業(半導体設計企業)の誘致・育成が一つの課題となっています。CICとは設計領域の海外スタートアップ誘致で連携できればと思います。

Fukuoka Growth Next



『起業家と支援者が集まるスタートアップ支援施設』

- オープン: 2017年4月
- 所在地: 福岡市中央区大名2-6-11
- 施設概要: 福岡を代表するスタートアップ創出を目指す、官民共働型のスタートアップ支援施設。起業・創業支援から成長支援までを統合的に提供し、スタートアップエコシステムの中心的な役割を担う。





福岡銀行 森永部長

よいですか」と聞いていただければ、次のステップをご案内させていただきます。FGNのスタートアップカフェでは無料で専門家に相談でき、すし、FGNにある福岡市雇用労働相談センター(FECC)には弁護士や社労士も常駐しています。エコシステム内で横でも連携しているので、どこに相談すればいいのかの相談にものりますよ。

といった表現によってハードルが高く感じられている部分もあります。起業の形はさまざまです。起業したいということであればスモールビジネスでもまったく問題ありません。ラーメン屋でもネイルサロンでもNPOだっていいんです。「チャレンジしたい」という気持ちが湧いたら、FGNを覗いてみる、CICのThursday Gatheringに行ってみるなど、私たちを活用していただきたいと思っています。そのためにイベントを開催しています。人と繋がって情報を得て、もう一歩進みたくなったら私たちに「次はどうすれば

清水GM CICも、どんなアイデアでも受け止めます。先ほどお話しした5つのプレーヤーを揃え、効率的かつクオリティーの高い「ヒト・モノ・資金・情報」を集積して行く予定です。それらが集まれば、情報リソースを生かしながらの急成長が見込めます。そして、VC・CVCとの距離を縮める機会も増やしたいですね。福岡の地域特性は、行政と企業が同時並行的にスタートアップエコシステムを構築しようとしている点です。森永さん、福岡の企業のスタートアップへの興味は高いのでしょうか？

森永部長 スタートアップが持つ

独自の技術やサービスを地域企業にご紹介すると、「ぜひ会ってみよう」「一緒にできることがありそうだ」と前向きな反応をいただくことが多く、具体的な商談や成約へと展開する例が確実に増えてきました。この芽吹き始めた共創の動きこそが、地域全体の新しい産業を生み出す原動力になると感じています。GROWTH Iでは、こうした動きをさらに加速させるため、地域企業とスタートアップが継続的に交流し、実証や事業連携へとつながる共創の仕組みづくりを強化していきたいと考えています。単なる資金支援やマッチングにとどまらず、課題の深掘りから解決まで伴走し、地域から新しい産業を生み出す実践的なプラットフォームへ進化させていくことを目指しています。

清水GM スタートアップと企業が共働・発展してオープンイノベーションが広がるだけではなく、企業文化を刺激してクロスドイノベーションが生まれ外から事業を持つてくるというケースも生まれますね。

森永部長 おっしゃるとおりです。GROWTH Iでは、新たに「●●社を囲む会」という、特定の1社を複数の企業・スタートアップが囲んでディスカッションする交流会を始めました。地域企業の新規事業開発とスタートアップ支援の両方に繋がたいと開催していますが、参加者には大変好評をいただいております、成果も出ています。

池田事務局長 最近ではM&Aに対する捉え方がポジティブになったこともあって、ゴールもIPOにこだわらなくなってきましたね。今は、高みを目指す、いわゆる「高さ」を出すスタートアップの誕生が求められています。しかし、M&Aも有効な手段だと思っており、それぞれの起業家にあったゴールの選択肢が増えることは非常にいいと思っています。

—スタートアップを目指す人へのメッセージと今後の抱負を。

池田事務局長 福岡市ほど、行政の支援を強力に打ち出している地域は

ありません。市のシステムを活用すれば、多くのメリットを受けられます。また、福岡は「アジアの玄関口」としてのポテンシャルが高い地域なので、一度は海外を目指してほしいという気持ちがあります。そのためには支援側も、海外に向けてチャレンジしやすい構造へと進化する必要があります。私たちも、起業家の皆さんと一緒にチャレンジしたいと思っています。

清水GM 成功を目指して福岡から東京へ進出する流れは多いですが、海外へ飛び出す層がもつと増えて欲しいですね。Thursday Gatheringのキーワードメッセージ「Failure is good（失敗は良いこと）」にあるように、チャレンジは何度してもよいのです。失敗を恐れず、経験から多くを学び、多種多様なスタートアップと出会い、企業文化の刺激を得て内的動機を強くする。それが成長に繋がります。オープンイノベーションの中には、M&Aや業務提携、CVCFファンド、

直接投資、アクセラレーションプログラムといった多岐にわたるメニューがあります。企業の皆さんにも、どのようなメリットを得られるのかを知っていただきたいですね。木曜日にはぜひ、Thursday Gatheringへ足を運んでください。

森永部長 これからは、成功事例を積み重ねて波及効果を生み出すことが重要です。FFGでは、スタートアップ設立から成長に至るステージ毎に資金支援メ

ニューを準備しています。また、CXO人財紹介（企業の各部門における最高責任者紹介）やメンタリングサポート等の多角的な支援を行うとともに、地域企業とスタートアップが共に成長できる仕組みを整えています。今後モスタートアップ、地域企業、行政、大学、

投資家がつながる九州発のオープンイノベーションのエコシステムを築き、起業・創業だけでなく、既存企業の新事業づくりや事業承継も含めた「挑戦しやすい環境づくり」を進めていきますので、ぜひGROWTH Iにも気軽にお越しください。本日お二人のお話を聞いて、私たちが共働する意義を強く感じました。ぜひ、共に新しいイノベーションを目指しましょう。本日はありがとうございました。



GROWTH I イベントスペースにて記念撮影

GROWTH I



『スタートアップと地域企業が交わる場所』

■オープン：2023年8月

■所在地：福岡市中央区大名2-6-53
福岡大名ガーデンシティ テラス 2階・3階

■施設概要：FFGが運営するスタートアップの成長支援・地域企業のイノベーション創出施設。



Sustainable Kyushu

さすてなぶる九州

医療法人 玉昌会 ぎょくしょうかい

理事長・総院長

高田 昌実氏

Masachika Takata

取引店／福岡銀行 鹿児島営業部
熊本銀行 鹿児島支店



高田理事長

SDGsの取り組みを“見える化”する SSI Indexの結果を 健全かつ持続的な医療経営の指針に。

鹿児島で地域に密着した医療・介護・福祉サービスを展開する医療法人玉昌会は、SDGsの目標3に掲げられている「すべての人に健康と福祉を」を実現する最前線にある医療機関です。今回、業界全体として問題が浮き彫りとなっている人材確保や労働環境の整備、地域連携や環境への配慮などへの課題解決にもつながるSDGsの取り組みについて、医療法人玉昌会理事長・総院長を務める高田昌実氏にお話を伺いました。

国内初の意匠登録「ゼロ動線病棟」と 切れ目のない医療提供を実現

医療法人玉昌会は、鹿児島市、始良市^{あいら}で病院や介護医療院、看護小規模多機能型居宅介護、居宅介護支援事業所、有料老人ホームなどを展開しています。その中でも注目を受けているのが鹿児島市高麗町^{こうらいちやう}に2021年2月に誕生した「キラメキテラスヘルスケアホスピタル」です。鹿児島市交通局跡地の再開発プロジェクトにより生まれた都市型複合施設「キラメキテラス」を構成する施設の一つで、ここには医療、商業・サービス・オフィス、ホテル、マンション、駐車場など複数の施設が集まっています。

当院は地域一般病棟、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟の全198床を有し、急性期病院で治療を行ってきた患者や在宅から発熱などで体調を崩してしまった患者に対し、治療やリハビリなどを提供し生活の場へ帰っていただく役割を担っています。画期的なのは隣接の重症患者や緊急度の高い患者に対して24時間体制で医療を提供している急性期機能の「公益社団法人昭和会いまきいれ総合病院」と連携し、2階の「アトリウム」と呼ぶ通路でつながっています。異なる



キラメキテラスヘルスケアホスピタル外観

医療法人の病院が建築構造上つながっていることは全国的にも類がありません。「いまきいれ総合病院」は高度急性期・急性期病院として重症・高度な三次救急までを受け入れており、救急車の搬入台数は年間5,000台にもなります。しかし、急性期は入院日数が平均すると約10〜14日程度で、その後は当院のような回復期病院に転院の必要があります。ベッドのまま転院できるこの通路があることは、患者さん、医療従事者双方の負担軽減につながっています。病院が「アトリウム」でつながることで、急性期機能から回復期機能・在宅サービスを含む慢性期機能を、切れ目なくワンストップで提供できる環境が実現しました。

病棟の特徴としては、日本で初めて特許庁から意匠登録認定された「ゼロ動線病棟」の未来型病棟を備えていることです。3階から6階の「ゼロ動線病棟」では、スタッフステーションと各病室の内側のドアを直結させ、医療従事者の看護動線を「ゼロ（最短）」にしました。病室の外側のドアを出ると「縁側廊下」と名付けた共有空間の廊下となっており、大きな窓に沿って設置された長い手すりは、歩行



1



3



2

1.共有空間となる広々とした縁側廊下／2.病室とスタッフステーションが直結するゼロ動線病棟／3.2階のアトリウムでいまきいれ総合病院とつながっている



インタビューに答える高田理事長

訓練などに利用できます。また各階には、広間（デイコーナー）、機能訓練室を設け、仕切りのない開放的な空間で過ごすことができます。

職員の提案から始まった

環境マネジメントへの取り組み

私が理事長となり20年が過ぎましたが、よく周囲の人から「玉昌会は新しいものにいち早く取り組んでいる」という声をいただきます。

私たちが担う医療・介護サービス事業は、社会保障制度に沿った国の管理体制の下にあり

ます。つまり経営者は社会的目線や患者さん目線に視点を置きつつも、国の方針に沿ったオーソドックスな経営スタイルを貫かなければなりません。

私が尊敬する松下幸之助氏は、何事に対しても「素直な心」が重要であるという言葉を残しています。この「素直な心」とは素直に物事を受け入れて、素直に行動することに通じています。その「素直な心」で実現したのがSDGsへの取り組みでした。

SDGsへの取り組みは、現場の職員からの「環境マネジメントに取り組みたい」という提案から始まったものです。私はその提案を素直に受け入れ、活動を見守りました。その結果、環境省が定めた環境経営システムに関する第三者認証・登録制度「エコアクション21」の認証を2013年に取得。ここから、私たちのグループ全体の体系的な環境経営の第一歩が始まりました。

さらにSDGsの17のゴールのうち目標3の「すべての人に健康と福祉を」に深く関連し、貢献する取り組みとして位置付けられている「健康経営」についても積極的に取り組んで

います。当法人は「いつまでも健やかに……私たちの願いです」を理念に掲げ、職員とその家族の健やかさを重要視してきました。その健康経営を「見える化」する「健康経営優良法人認定制度」が設けられており、その中で大規模法人部門において特に優れた取り組みを行う上位500の法人が認定される「ホワイ500」を、2019年度より7年連続で取得しています。

医療・介護サービスを通じて 多世代が住みよいまちづくりへ

さらに、鹿児島市の「SDGs」推進パートナーに登録し活動する中で、福岡銀行から企業のSDGsに対する取り組みを「見える化」できるSSI Indexを紹介していただきました。私たちの取り組みがどのように評価されるのかを知りたいと、2022年度から参加しています。

現在、力を入れている項目の一つに「地域貢献」があります。その根底には、鹿児島市と始良市にある二つの病院ならびに二つの介護施設



4.「荒田校区コミュニティ協議会」×「ヒューマンライフライン協議会～ミライヲテラス～」包括連携協定締結式／5.キラメキ健幸ひろば／6.荒田校区健康教室



地域活動(神社清掃・水辺サポート)

(介護医療院)が、地域住民に対し、治し支える医療(サービス)を安定して提供できていることが挙げられます。しかし超高齢社会を迎え、これからは介護施設との連携を強化し、地域における医療・介護サポート活動のさらなる充実を図る必要があります。そのためにも多職種連携を行い、医療行為の提供にとどまらず、総合的な医療・介護サービスを統一的に提供し維持することをチームで考え、実行していくことが重要になると考えています。

具体的な取り組みでは、地域のまちづくりやさまざまな地域課題に取り組んでいる地元

「荒田校区コミュニティ協議会」と公益社団法人昭和会、南国ホテルズ株式会社、医療法人玉昌会から成る「ヒューマンライフライン協議会」が、2024年7月に包括連携協定を締結しました。これは多様な連携を通じてお互いの資源や魅力を活かし、福祉・重層的課題・防災・文化をテーマに荒田校区における「合理的配慮の提供が行き届いた地域共生社会」・「多世代が住みよいまちづくり」の実現を目指すためのものです。

荒田校区は鹿児島市の中心部でありながらも高齢化率が年々上昇し、いざ有事の際には防災拠点としての機能も持たなければなりません。地域住民に対しては「キラメキ健幸ひろば」や「健康教室」を開催して健康増進を図ることはもちろん、災害への備えや防災意識の向上を図るための防災訓練も行っています。

**SDGsの取り組みへの評価を励みに
健全な医療経営の可能性を探る**

今回、SIndexで自社のSDGsの取り組みを把握できたことで、私自身が医療経営

に対して自信を持つことができました。今や医療・介護業界は崩壊寸前の危機にさらされています。長年の公定価格での安価な診療報酬、人手不足や物価高騰ならびに人件費の高騰、そこには金利上昇といった社会的背景もありますが、いかに業績を上げて経営に必要な利益を生み出すが存続の鍵となつていきます。そのような中で、職員全員が丸となり取り組んだ内容が、SDGsの取り組みに通じることを確認でき、私にも職員にとっても励みになりました。

2040年ごろには高齢化率がピークとなり、介護離職者などによる経済的損失は約9兆円とも言われています。社会の維持や未来をつくるために生産人口を生産の場にとどめるには、社会保障制度の下で、地域包括ケアシステムネットワークを活用した新たな地域医療構想と、新たな医療計画を基盤とした医療・

介護サービスで地域を守る必要があります。その時に、この「キラメキテラス」や玉昌会グループ全体で実現した「ヒューマンライフライン（共創プラットフォーム）」が大きな機能を発揮すると思っています。このプラットフォームは、いずれ国内の各地域はもちろん、高齢化に悩む世界の国々に対しても提供できる強力な輸出産業になるのではないかと考えています。



左から田島副院長、高田理事長

医療法人 玉昌会

■所在地：〈法人事務局 鹿児島本部〉

〒892-0822 鹿児島市泉町2番3号 そうしん本店ビル4階

■電話番号：099-226-8036

■事業内容：医療・介護・福祉サービス

■関連施設：キラメキテラスヘルスケアホスピタル、加治木温泉病院・加治木温泉病院介護医療院、JOYメディカルクリニック、介護医療院 おはな、トータルウェルネスセンター、キラメキテラス看護小規模多機能型居宅介護 麗、居宅介護支援事業所 キラメキ、住宅型有料老人ホーム おはな別館、看護小規模多機能型居宅介護 お福、居宅介護支援事業所 ぬく杜



私たちFFGは
「地域に真のゆたかさ」を実現するため、
様々な分野での地方創生に取り組んでいます。
地域と人と企業を結ぶFFGならではの視点で、
地域の魅力とそれを支える人々のストーリーを
紹介していきます。

地域と銀行、つながるバトン。

昨日から今日、今日から明日。

私たちは、バトンのように日々を送る。

そこに、誰かの「こうしたい!」が加われば。

日々は生き生きと色彩を持ち始める。

地域を変える活力も、初めは小さな願いから。

地域と銀行がバトンで繋がったとき、新しい物語が、始まります。

地元企業と一風堂がコラボ。 宗像特産の甘夏の苦味を生かした 塩ラーメン開発ストーリー。

鷹羽屋×力の源ホールディングス×宗像市×福岡銀行(ふくおかフィナンシャルグループ)



福岡を代表するグルメといえは豚骨ラーメン。その人気店として知られる「一風堂」の運営会社、ちからもと力の源ホールディングスは、食育や食を通じた地域活性にも力を入れており、2024年から25年にかけて福岡県宗像市^{むなかた}のある特産品を取り入れたラーメンを開発しました。その食材とは、玄界灘に浮かぶ宗像市大島で昔から栽培されてきた「甘夏」。爽やかな酸味があり、独特の苦味を生かしたマーマレード作りも定番です。しかし、デザートのような甘さを求められる昨今の果物市場においては人気伸び悩んでいるのが実情。甘夏農家の後継や存続も危ぶまれ、このままでは広大な耕作放棄地が生まれてしまうかもしれません。

そんな状況に数年前から気づき、甘夏の有効活用に情熱を注いでいたのが、宗像市で食品製造・販売を営む「鷹羽屋」^{たかはねや}の濱田さん。縁あって大島の甘夏に携わるうちに、地元の人たちに長年愛され続けている甘夏の市場価値の低さや課題を知ることになった濱田さんは、注目を集めるような新商品に加工できないかと考え、事業パートナーの久保さんと共に甘夏メニューの試行錯誤を続けていました。

当初取り組んでいたのは甘夏を使ったスイーツでしたが、あるとき濱田さんが、甘夏の苦味を生かすならば、お菓子ではない方が良いかもしれないと食

品の方へ舵を切ろうとしていたところ、まさに渡りに船。力の源ホールディングスと協業を模索していた福岡銀行地域共創部が、「食で地域を創造する」をポリシーとする地元企業の鷹羽屋に着目し、2社を引き合わせたのです。こうして、ラーメン開発のブロと、地元食材への愛情と知識をもつ鷹羽屋とがタッグを組み「甘夏を使ったラーメン」の開発が始まりました。

開発を担当したのは、力の源カンパニー商品開発グループでマネージャーを務める堺さん。「甘夏を使った開発は初体験。難しいけれど、もともと柑橘とラーメンの相性は悪くないので、甘夏の苦味をあえて生かすスープを追求しました」と振り返ります。宗像大島の塩と宗像「マルヨシ醤油」の薄口醤油を、むななかつ鶏のガラスープに合わせ、ドライ甘夏を程よく散らした「甘夏香る塩ラーメン」が完成しました。

第1回目の試食会では、このラーメンに近い、白濁の鶏白湯スープも提案しましたが、最終的には澄んだ清湯（透き通ったスープ）の塩ラーメンに決定。麺は、スープがよく絡み、食感的にも塩ラーメンに合うちぢれ麺を合わせました。さらに、トッピングのつみれやチャーシューもむななかつ鶏を使った自家製。つみれの中には甘夏ピールも練り込まれて

います。

最初のお披露目は9月、東京の「一風堂 浜松町スタンド」でした。甘夏香る塩ラーメンをメインに、宗像産品を使ったコース料理を味わうイベントで提供したところ、美味しさと大好評。「あの一風堂が塩ラーメン、しかも甘夏入り!？」とファンの間でも話題になりました。

続いて10月には、地元の「道の駅むななかつ」にキッチンカーを出店し1杯1,000円で販売したところ大好評。「開発して終わりではなく宗像市の名物グルメとしてさらに多くの人に味わっていただきたいですね」と鷹羽屋の濱田さんは意欲を燃やします。

「食のまち宗像」を掲げる宗像市も、地元特産品の開発を支援。費用の助成も行っています。鷹羽屋もこの支援を利用して、ラーメンのお土産品開発を進めており、クラウドファンディングも予定。そんな鷹羽屋を、福岡銀行宗像支店もサポート。地域で頑張る人とのつながりを大切にしながら、さまざまな形で地域活性に関わってまいります。

FFGは地域が抱える課題解決や 地域経済の活性化に取り組んでいます

地方創生に関するお悩みをご相談ください。

- 観光振興
- 産業振興
- まちづくり
- 産学官金連携
- 地域資源活用
- 情報発信 など



写真：福岡銀行宗像支店

お問い合わせ

ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 地方創生推進グループ
TEL: (092) 723-2254
MAIL: bankbaton0101@fukuoka-fg.com

記事の全編は
こちらから

本記事は、bank batonに
掲載された内容のダイ
ジェスト版です。

記事の全編は以下のWEB
ページにてご覧いただけ
ます。



[https://www.fukuoka-fg.com/
bankbaton/story/17/](https://www.fukuoka-fg.com/bankbaton/story/17/)

Topics of the month

学びとネットワーク形成の場 「2025年度FFG経営塾」閉幕！

今年度も会場をGROWTH Iにて開催した「2025年度FFG経営塾」は、盛況の中、無事閉幕いたしました。

「FFG経営塾」は、FFG（福岡銀行、熊本銀行、十八親和銀行）のお取引先企業の経営者や後継者、現役幹部の方々を対象に、経営に役立つ知識の習得と参加者同士のネットワーク構築を目的とした講座です。今年度は2025年7月から約5か月間にわたり、学びと交流・情報交換ができる場を提供してまいりました。

最終回は、オフィスPDCA代表 蒲田善行氏かばた よしゆきを講師に迎え、「組織マネジメント」をテーマに、経営者として必要な組織全体のマネジメントについてご講義いただきました。一流の講師陣による全6回のセミナーを終わるべく、若手社員の視点を含め幅広い観点から学ぶことができました。「異業種の方と複数回交流でき、とても良い経験とな

りました」「今回の学びをしつかり復習し、アウトプットしていきたいと思います」など、研修を振り返り自身の成長につながったとの声が寄せられました。

講義後は、ザ・リッツ・カールトン福岡にて懇親会を開催し、講師の蒲田氏をはじめ、各行の営業統括部長、ご参加いただいたお取引先の各支店長や担当

行員、本部行員も加わり、業種・地域を超えた交流を通じて親睦を深めていただきました。

閉講にあたり、十八親和銀行営業推進部 白井部長より受講生に向けて、本塾で学ばれたことやFFG、受講生とのネットワークを活用し、今後のさらなるご活躍を期待する言葉が述べられました。



FFGビジネスコンサルティング 原田社長による開講挨拶



蒲田善行氏



GROWTH Iでの講義の様子



十八親和銀行 白井部長による懇親会挨拶

FFG経営塾を無事終了できましたのも、ご参加いただいた皆さまのご協力の賜物でございます。心より御礼申し上げます。

FFGは今後も「一歩先を行う発想で、地域に真のゆたかさを。」という存在意義のもと、将来を担う地元経営者や経営幹部の皆さまに有益な情報・サービスの提供に努めてまいります。



ザ・リッツ・カールトン福岡での懇親会



参加者同士や行員との交流が盛んにおこなわれた懇親会

2025年度FFG経営塾 開催概要

日程	テーマ	内容	講師
第1回: 7月24日	「人を動かす」経営	人を動かすことについて経営者として必要な視点を学ぶ	CNGWAY パートナー 石原 由一朗 氏
第2回: 8月21日	人材マネジメント	人材育成において、経営が果たす役割について学ぶ	アサヒグループホールディングス株式会社 社外取締役 佐藤 千佳 氏
第3回: 9月11日	リーダーシップ	経営に求められるリーダーシップについて学ぶ	日本生産性本部 主席経営コンサルタント 中間 弘和 氏
第4回: 10月9日	コンプライアンス	コンプライアンスの最新動向を学ぶ	長島・大野・常松法律事務所 弁護士 勝 伸幸 氏
第5回: 11月6日	事業開発	新たな事業価値を創造する考え方、方法について学ぶ	九州大学 経済学研究院(ビジネス・スクール:QBS)教授 九州大学ロバート・ファン・アントレプレナー(QREC)センター長 高田 仁 氏
第6回: 11月28日	組織マネジメント	経営として必要な組織全体のマネジメントについて学ぶ	オフィスPDCA 代表 産業カウンセラー・キャリアコンサルタント 蒲田 善行 氏

地域と共生するFFG

きゅうしゅうこう きょう がく だん

九州交響楽団

街に寄り添い、日常を豊かに
進化する九響サウンド



1953年の創立以来、九州の音楽文化を牽引し「九響」の名で親しまれてきた九州交響楽団。2024年度に発足した首席指揮者・太田弦氏、ミュージックアドバイザー・篠崎史紀氏の新体制も、3年目のシーズンを迎えようとしています。

音楽芸術の真髄を追求した「定期演奏会」をはじめ、トークとともに作品の魅力を味わう「天神でクラシック」、妊娠中の方やお子さま連れの方も安心して楽しめる「九響マタニティコンサート」、新年を彩る「ニューイヤーコンサート」など、多彩なプログラムを展開。さらに「中学生の未来に贈るコンサート」などの教育分野への取り組み、行政や企業による依頼演奏など、九州を代表するオーケストラとして、年間約150回におよぶ公演を行っています。

今年7月にはFFGの五島社長が理事長に就任。創立80周年、そして100年という節目を見据え、九響は今、新たな挑戦のステージへと歩みを進めています。今回は、現在の取り組みと活動への想い、未来への挑戦についてご紹介します。



あいさつ

九州交響楽団理事長 五島 久

(株式会社 ふくおかフィナンシャルグループ 取締役社長)



2025年7月から九州交響楽団の理事長に就任いたしました五島でございます。本楽団は1953年の創立以来、九州を代表するプロ・オーケストラとして、地域に根差した音楽活動を展開し、皆さまからの温かいご支援と高い評価をいただいております。音楽を愛する者のひとりとして、これまでに築いた伝統を大切にしながら、時代の変化に即した新しい挑戦を積極的に進め、「地域とともに育つ楽団」「持続可能で多様性のある組織」を目指し、楽団一丸となって活動に取り組んでまいります。

さて、2026年度は首席指揮者太田弦、ミュージック・アドバイザー篠崎史紀体制3年目のシーズン。それぞれとの関係、コミュニケーションはますます深化して

おり、だからこそ実現できるオーケストラ音楽の醍醐味を皆さまにお届けいたします。

「定期演奏会」や「天神でクラシック」では年間を通して、今まで以上に九響の多彩な魅力を感じていただける出演者、演目を揃えました。また「九響アフタヌーン・セッション」と題して、実力派ソリストとの共演とオーケストラの名曲を平日の午後にお楽しみいただける新シリーズも始めます。皆さまのライフスタイルにあわせてお聴きいただければと存じます。

加えて、「北九州定期演奏会」、熊本、大分での「特別演奏会」もより充実させ、九州各地で九響の音をお聴きいただきたいと思っています。

また、「九響マタニティコンサート」、「オーケストラforキッズ」、「夏休みミラックスクンサート」など親子で楽しめる公演や年齢、障がいの有無に関わらず、多くの方がクラシック音楽に触れる機会も広く展開し、九響のキャッチフレーズである「あなたの街のオーケストラ」を進めてまいります。

私たちは、これからもより多くの皆さまに愛され、地域の文化を豊かにする存在となるべく、力を尽くしてまいります。今後とも変わらぬご支援賜りますようお願い申し上げます。

九響

Vision

ビジョン

01

オーケストラ・コンサート活動
芸術音楽の素晴らしさと感動をお届けし、日本のトップオーケストラを目指します

02

地域・社会貢献活動
「あなたの街のオーケストラ」として、地域、社会のために貢献します

03

教育・人材育成活動
九州の未来を担う子どもたちや若者に音楽を届け豊かな感受性や共感力を培います

04

経営基盤の強化と組織風土の充実
サステイナブルな楽団経営に取り組むことでプロフェッショナルな音楽家集団としての責任を果たします

音楽のチカラを、明日のチカラに

創立の歴史

音楽への情熱を絶やさず
歩み続けた73年

1950年、NHK 熊本中央放送局の放送管弦楽団を中心に、戦後の九州で初となるオーケストラ「熊本放送楽団」が結成されました。その誕生に触発されたのが、初代常任指揮者・石丸寛氏をはじめとした音楽を愛する若者たち。「福岡にもオーケストラを！」という情熱のもと、翌1951年、後の九響につながる「福岡放送管弦楽団」が誕生しました。こうして九州に生まれた2つのオーケストラを中心に、九大フィルや九州各県の奏



者にも声をかけ、1953年10月31日、九州交響楽団としての初の定期演奏会を開催しました。運営資金や団員の確保に奮闘しながらも、創立20周年の1973年には念願のプロ化を達成。そこから専属団員の数を少しずつ増やし、九響は着実にレベルアップしてきました。近年も、震災やコロナウイルスの影響による公演の開催中止や制限などさまざまな苦難がありました。九響を必要とする方々の支援や、新たな取り組みへの挑戦によって危機を乗り越え、2023年には創立70周年の新たな節目を迎えました。

理念

さらなる未来を拓くため
「九響ビジョン」の改定

創立60周年を迎えた際、「九州唯一のプロ・シンフォニーオーケストラとして九州の楽壇をリードする存在でありたい」との想いから「九響ビジョン」が策定されました。以来、活動の指針となっているこの理念を、人々のライフスタイルの多様化やクラシック音楽業界を取り巻く現状の変化に伴い、創立70周年を機に改定しています。決して平坦なものではなかった73年の道のり。それでも音楽のチカラを信じ、いつでも街のため、人のためにできることは何か、を考え実行し続けて

きた「九響」。次の節目である80周年に向け、時代の変化への柔軟な対応と経営基盤の強化を促進し、街に寄り添うプロフェッショナルな音楽集団、九州唯一の交響楽団としての覚悟と信念を持ち、これからも歩み続けていきます。



活動内容①

芸術音楽の感動をもっと身近に

九響の活動の主軸となるのは、アクロス福岡や北九州芸術劇場で開催している「定期演奏会」。九響ビジョンの冒頭にも掲げているように、高い芸術性を追求し、これまで九州で演奏されたことのない作品や、プロ編成だからこそ実現可能な高い技術を要する作品に取り組んでおり、まさに楽団が総力を上げて音を奏でる至極の公演といえます。

一方、FFGホールで開催している「天神でクラシック」シリーズはソリストや指揮者が作品の魅力について語りながら進行するスタイルで、クラシックを楽しむ入門の機会として、より気軽に楽しめる公演です。年末の「第九」公演や、年始の「ニューイヤーコンサート」も季節の風物詩として、人気の公演となっています。

活動内容②

すべての人が音楽に触れられる街へ

4年前からスタートした「九響マタニティコンサート」は毎年完売している人気の公演です。ミルクコーナーや助産師相談コーナー



もあり、お子さま連れや妊婦さんが、リラックスして音楽を楽しめる場として、来場者の方からも大変好評の公演となっています。ほかにも、車椅子の方や障がいがある方も安心して音楽を楽しめる工夫を施した「夏休みリラックスコンサート」、学校での巡回公演など、街のすべての人が九響サウンドに触れられる機会の創出に取り組んでいます。「オーケストラ」と聞くと、遠い存在だと感じられる方もいるかもしれませんが、子どものころ、あるいは家族の方が、一度は九響の音楽に触れたことがあるのではないのでしょうか。地域に密着し、より多くの人にクラシックの

魅力を届ける公演づくりをすること。九響が「あなたの街のオーケストラ」として、設立当初から変わらず挑戦している取り組みです。

法人企業に向けて、また今後の活動について

日常に響く最上級の音色九州の誇りをめざして

九響では主催公演の他に、企業の周年行事やイベントと連動した記念コンサートなどの依頼公演も対応が可能です。場所や用途、予算など個別の相談で、オーケストラはもちろん、少人数での室内楽など幅広い内容の公演を行っています。九響はこれまでも、九響の活動を応援する後援会による支援や協賛による支援とともに歩んできました。九州という名を冠した楽団として、これからは福岡県のみならず、九州各地での活動を積極的に広げ、地域の人の日常が少しでもゆたかになるような、親しみある存在を目指します。街にオーケストラがあることは、当たり前ではありません。九響はこれからも幼少期から上質な音楽に触れること、学校でオーケストラを聴けることの価値を地域全体に発信していきたい、ひとりでも多くの方が誇りに思うよう、演奏を通し、音楽文化の素晴らしさを届け続けます。

九響後援会 会員募集のお知らせ

九州交響楽団は、九州唯一のプロのシンフォニー・オーケストラとして、様々な演奏活動を通じて、多くの皆さまへ音楽の感動をお届けしています。活動をより充実させるために、また、幅広い社会貢献活動を行うためには、日頃より芸術文化推進の想いにご賛同いただける方の支援が不可欠です。ぜひ、九州交響楽団の広範な演奏活動にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

法人

- ▶ 九響後援会への入会や増口：5万円／1口・年～
- ▶ チケット購入：九響主催公演のチケットをまとめてご購入（福利厚生などへの活用）
- ▶ 公演依頼：オーケストラ演奏の依頼
室内楽演奏（弦楽または管楽）の依頼
- ▶ 特別協賛：1公演・100万円（税別）～（九響主催公演会場でのPR、招待券贈呈などの特典あり）
- ▶ 支援自販機の設置：自販機を設置し売上の一部を寄付

個人

- ▶ 九響後援会への入会や増口：25,000円／1口・年～
lightプラン10,000円／1口・年～

ご入会時に、①寄付をするか、②聴いて支援するかを、選択いただきます。

① 寄付をする（税制の優遇を受ける）

九州交響楽団は「公益財団法人」の認可を受けました。

●法人

一般寄付金の損金算入限度額と別枠で損金算入することが認められています。

●個人

「寄付金控除（所得控除）」と「寄付金特別控除（税額控除）」のどちらか、減税効果の高い方を選択できます。

※税制優遇の詳細については、お近くの税務署までお問い合わせください。

② 聴いて支援する（座席引換券を利用する）

九響主催演奏会の座席引換券を一口につき4枚

※（下期入会時は2枚）お送りいたします。

（一部対象外の演奏会がございます）

※個人会員（Light）は一口につき1枚、下期入会されたお客様には座席引換券のお渡しはございません。

寄付金についてはこちらをご覧ください
<https://www.kyukyo.or.jp/support/>



お問い合わせ | 九州交響楽団 TEL 092-822-8855

公演情報など詳しくは 九州交響楽団HPへ <https://www.kyukyo.or.jp>



アリウェル 株式会社 (旧:福岡商事 株式会社)

FFGグループの業務提携先であり、地域社会の発展と都市環境づくりに貢献し、新社名で新たなスタートを切るアリウェル株式会社。事業の成り立ちから事業にかける想い、展望をご紹介します。



代表取締役社長
ふるえ ひさのり
古江 寿則 氏

すべての人に、
より良い明日を。

福岡商事から「アリウェル」へ。
93年の伝統を礎とし、
すべての人の幸せを叶える道へ

福岡商事株式会社は2025年12月1日、アリウェル株式会社と商号を改め、新たなスタートを切りました。社名に込めた想いは「All is well」。すべての人に、より良い明日を届けることを理念とし、「保険、不動産、ホスピタリティ事業」という3本の柱をさらに強化して、幅広いサポートでお客様の幸せを追求してまいります。

当社は1932年に株式会社十七国立銀行(現:株式会社福岡銀行)の傍系会社として設立して以来、93年間にわたり損害保険や生命保険、不動産にまつわる業務に注力してまいりました。しかし事業統合などにより取引先のエリアが拡大する中で、「福岡」の名を冠する違和感が生じていたのも事実です。

九州全域のお客様全てに当社を身近な存在として認識していただくためにも、伝統

から一歩踏み出し、未来に焦点を当てた体制づくりを進める所存です。

主力事業である保険部門と 福岡のポテンシャルを活かした 不動産部門を強化

当社の主力事業である保険部門は、全国に数多ある地方銀行系列の会社の中でも、トップクラスの取扱い高を維持しています。現在のラインナップは、生命保険会社14社、損害保険会社10社を取り扱っており、創業当初に帝国海上火災保険株式会社と損害保険の代理店契約を締結して以来、地域に密着して、企業価値を健全に持続させる保険提案に注力しています。

しかし近年は、人件費や資材価格、工賃等のアップにより、保険料も2倍、3倍の値上げラッシュが全国的に続いています。経営の多様化・多角化も伴い、従来のような商品販売の形式ではご満足いただけなくなりました。

今や、保険もオーダーメイドの時代です。当社は、リスクコンサルタントをコンセプトとし、より緻密で柔軟な保険設計を実現するため、リスクコンサルティンググループを設置しました。スペシャリストを

外部から招くなど人材育成にも力を入れています。顧客が将来的に抱えるリスクを顕在化し、加入保険の過不足を精査して、ランニングコストを鑑みた適正かつベストな商材を、スピード感を持ってご提案しています。

また、不動産部門においては、仲介と賃貸、駐車場事業と開発事業の4つの柱があり、仲介だけで年間100件以上の案件を手掛けています。不動産ストックとして安定しているのは銀行系のビル管理と直営の駐車場です。加えて、福岡銀行各支店の駐車場管理の受託件数が110箇所を超えています。

開発事業では、福岡市東区で先進都市として整備が進む「福岡アイランドシティ」を代表に、大手デベロッパーと組む大規模プロジェクトにおいて、分譲マンションの販売などを手掛けています。

意外なところでは、熊本県に誘致された台湾の半導体企業TSMC稼働に伴って台湾から移住して来られた方々の中に、福岡市内に居を求めるご家族もおられ、現在、物件や学校が不足しているような状況で、賃貸の需要がプラスになることが予測されます。物流業界における2024年問題以降の物流拠点としての土地探しや、収益物件を求めるお声掛けもあり、不動産ニーズは

高まる一方です。日本の人口は、2040年にはピークアウトを迎えますが、アジア企業の日本進出も見込まれ、九州の雇用や消費はまた違う局面へシフトするでしょう。関東資本が流入して土地価格が上昇している点は課題の一つではありますが、資産価値とエリアのニーズを十分に検討しながら、不動産ストックの内容の見直しも視野に入れば、資産の有効活用を検討していきます。



左からFFGビジネスコンサルティング原田社長、アリウェル古江社長

「商事」の枠を超え ホスピタリティの精神を育む

商号変更の目的の一つには、ホスピタリティ事業の可視化がありました。当社では、関連子会社である株式会社C&G Value Designが手掛けるホテル・旅館・飲食事業を通じて、多くのお客さまに憩いの場と豊かな時間を提供しております。現在、福岡市中央区のヒルトトップリゾート福岡、イノベータティブ・フレンチ WATAHAN、佐賀市の古湯温泉ONCRI等、それぞれの地域の特徴や滋味を満喫できる施設を保有



しています。

いわゆる「商事会社」を標榜する全国数多くの企業の中で、保険部門と不動産部門を精力的に展開し、なおかつホテル・旅館・飲食事業を展開する会社は当社において他にありません。しかし、顧客に対する各部門の周知が思うように進んでいない現状があります。

社内でも部門ごとに情報が隔たれていた面があり、各人が自社サービスの全てに胸を張って話題にできるように、各施設の利用促進と、互いの体験を共有できる風通しの良さに努めております。内部の連携を強化することで、保険と不動産とホスピタリティという、かつてない深みを持った顧客サービスの実現を目指します。

とはいえ、当社単体の社員のうち3分の1以上が銀行出身者という、金融を得意分野とする当社にとって、ホスピタリティに対する理解を深めるには時間が必要です。私自身は海外勤務期間の約6年を現地のホテルで暮らし、日本とは質の異なるホスピタリティを間近で経験したのですが、スタッフの気配りには実に感動させられました。福岡はインバウンドのお客さまが集中するエリアでもありますから、日本のおもてなしを大切にしつつも、各国から来日する方々に相応しいホスピタリティが求められるシーンも増えていくでしょう。ここはC&Gを率

いる代表取締役CEO・副島和昌と取締役副社長COO・柚木孝文、両名の手腕に期待を寄せるところです。しっかりと議論を重ねながら、二人三脚で投資物件を吟味していきたい考えです。

目標は100周年となる
7年後のグループ売上げ
150億

7年後の2032年は設立100周年です。大きな節目を迎えるにあたって、売上げを当社単体で100億、グループ全体で150億を目標に掲げております。展望としては、新たな不動産開発事業への参画、また事業の売却・縮小を検討している企業内保険代理店等のM&A、そしてC&Gで九州一円にホテル・飲食店のグループが展開できればという狙いです。

この企業力を地域の貢献に繋げ、お取引さまとご家族、ひいては地域の皆さまの幸せに寄与したいと願い、心新たに「アリュエル」としてスタートしました。引き続き皆さまのご期待に応えられるよう、グループ一丸となり、今まで以上に邁進してまいりますので、よろしくお願いいたします。

CORPORATE INFORMATION

会社紹介



最前列左 5 人目が古江社長



すべての人に、より良い明日を。

ALIVELL

All is Well.

アリウェル 株式会社

(旧:福岡商事 株式会社)

取引店:福岡銀行 本店営業部



会社概要

- 設立:1932年 ■所在地:福岡市中央区大名2丁目2番26号
- 資本金:4,800万円
- 従業員:157名(2025年10月1日現在)
- 事業内容:損害保険代理業、生命保険の募集に関する業務、不動産
売買仲介事業(第二種金融商品取引業)、不動産賃貸事業、駐車場業
及び各種提携事業、不動産開発事業
- グループ会社 株式会社C&G Value Design
- グループ施設:ヒルトップリゾート福岡、古湯温泉ONCRI、
イノベティブ・フレンチ WATAHAN 等

C&G Value Designが手掛けるホスピタリティ事業

地域の皆さまの日常と非日常に、
心地よい空間とおもてなしで豊かなひとときをお届けします。



▲ C&G Value Design



ヒルトップリゾート 福岡



古湯温泉 ONCRI



イノベーティブ・フレンチ WATAHAN



▲ STRAWBERRY
GARDEN



▲ むなかた茶舗



▲ ONCRI-KARATSU



▲ Watahan



▲ 古湯温泉ONCRI



▲ HILLTOP RESORT
FUKUOKA



古湯温泉ONCRI



古湯温泉ONCRI



ONCRI-KARATSU



HILLTOP RESORT FUKUOKA



むなかた茶愉



STRAWBERRY GARDEN



STRAWBERRY GARDEN

Topics of the month

お客さま向けセミナー 『第12回 海外駐在員が語る 「アジアの“今”」』を開催しました！

FFGは、10月27日(月)に西鉄グランドホテルにおいて、
お客さま向けのセミナー『第12回 海外駐在員が語る「アジアの“今”」』を開催しました。

本セミナーでは、FFGのアジア7拠点(大連・上海・香港・台北・ホーチミン・バンコク・シンガポール)の海外駐在員事務所长が一同に会し、海外現地のリアルな声を海外進出を目指すお客さまにお届けしています。12回目の開催となる今回は外部講師にもご登壇いただき、更に充実したセミナーとなりました。

第一部では、インド進出の最前線「インド進出のための準備とステップ」と題し、フェアコンサルティングインディアの山本修也氏から、インド市場への進出に関する実務的なポイントや最新動向、インド法制度の概要とビジネス契約の基礎知識についてご説明いただきました。

第二部では、福岡銀行の各海外駐在員事務所长が、「海外現地の生産」や「海外でのマーケティング」をメインテーマにパネル

ディスカッション形式にて対談を行いました。135名(会場75名、オンライン60名)のお客さまに参加いただき、各所長が現地の最新トピックスや海外進出サポート事例等の講演を行いました。

第三部では、参加企業交流会を開催しました。参加者は、海外駐在員事務所长と現地の話や海外ビジネスの話で盛り上がり、アジアの市場に対する関心の高さが伺えました。また、参加者からは「インド進出について専門的な解説を聞くことができよかった」、「アジア各国の最新情報を聞き、多くの学びがあった」など、有意義な時間を過ごせたとの声をいただきました。

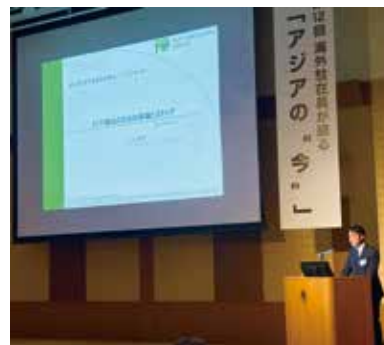
FFGは、今後もお客さまの海外ビジネスにおける課題解決や事業拡大のサポートを通じて、お客さまの価値向上、地域経済の発展に貢献します。



第三部：企業交流会の様子



第二部：各駐在員事務所长によるパネルディスカッション形式の講演



第一部：フェアコンサルティングインディア 山本修也氏の講演

銀行ATMコーナー

で、貴社の魅力を効果的にアピールしませんか？

FFG広告配信サービス

銀行内のATMコーナー設置のデジタルサイネージで、企業CMを配信できます。

こんなお悩み
ありませんか？

- ✓ 地域の方に、自社のサービスやお店を知ってほしい。
- ✓ 手軽に始められる広告を探している。
- ✓ 安さだけではなく、会社の価値や信頼性を高めたい。

「FFG広告配信サービス」で、貴社のPR活動をサポートします！

POINT 1

選べるエリアで効率的に配信

福岡・熊本・長崎の3県290店舗以上のネットワーク。
全8エリア※1の中から、貴社に最適なエリアだけを選んで効率的にPRできます。

※1.福岡・北九州・筑後・筑豊・熊本県全域・長崎北・長崎県央・長崎南



POINT 2

月額11,000円から配信可能※2

「まずは試してみたい」企業様でも、気軽に始められる
リーズナブルな価格設定です。

※2.筑豊地区の月額金額です。契約は、6ヶ月契約となります。



POINT 3

信頼と安心のロケーション

月間最大延べ1,000万回※3の利用数を誇るATM
コーナーで放映。地域に根差した身近な場所ならではの「信頼感」と「安心感」が貴社のブランドイメージの
向上を後押しします。

※3.FFG3行(福岡、熊本、十八親和)の1ヵ月あたりATM利用回数の総数



※画像はイメージです。

詳しくは、お取引のある銀行(福岡銀行・熊本銀行・十八親和銀行)へお問い合わせください。

※広告掲載にあたり、所定の審査がございます。審査の結果、掲載できない場合もございますのでご了承ください。



福岡銀行



熊本銀行



十八親和銀行

Topics of the month

「第12回熊本リレーマラソン」が
開催されました！

2025年11月3日(月・祝)、熊本市東区のえがお健康スタジアム(熊本県民総合運動公園陸上競技場)にて、「第12回熊本リレーマラソン」が盛大に開催されました。秋晴れの空の下、家族、職場仲間、学生チームなど多彩な参加者が集い、笑顔でタスキをつなぎました。

今大会には373チーム・3,517名のランナーが出場。42・195kmと20kmの2種目において、それぞれ一般部門(小学4年生以上)・職場仲間部門・学生部門(全員が学生・小学4年生以上)の3部門でタスキをつなぎ、タイムを競い合いました。

特別協賛として、熊本銀行およびFFGは第1回大会(2013年)から継続して大会を支援。熊本銀行からは14チーム・163名が出場し、会場を大い

に盛り上げました。会場内では応援の声が絶えず、走り終えた参加者同士が互いの健闘を称え合う姿や、チームの絆が深まる光景が随所で見られました。

FFGはこれからも、スポーツの振興を通じて、地域の発展に貢献してまいります。



スターターを務めた坂本頭取(熊本銀行)



スタートを待つランナー



表彰式の様子 プレゼンター 上村専務(熊本銀行)



熊本銀行行員&ユーモも
大会を盛り上げました！



完走証を手に記念撮影する熊本銀行行員



Topics of the month

ふくぎん本店広場 冬のイルミネーション点灯式を開催

2025年11月21日(金)ふくぎん本店広場にて冬のイルミネーションの点灯式を開催しました。



ジャズボーカリスト西村香織さんと福岡銀行軽音楽部のクリスマスセッション



明治通りから見えるクリスマスツリー「FFGイルミネーションタワー」



福岡銀行本店築50周年を記念したクリスマスツリー

ふくぎん本店広場で天神の冬の風物詩として親しまれているFFGイルミネーションタワーを灯す「冬のイルミネーション点灯式」を開催しました。

今冬は「空へ。未来へ。真のゆたかさを、かがやきを。」をテーマに開催し、福岡銀行本店築50周年を記念して、クリスマスアドベント（旧：福岡クリスマスマーケット）

とコラボした新しいクリスマスツリーもお披露目しています。

ふくぎん本店広場に設置された点灯式ステージでは、クリスマスソングパフォーマンスが披露され会場が温かいムードに包まれました。その後、点灯カウントダウンで2つのクリスマスツリーに光が灯り、ジャズボーカリスト西村香織さんと福岡銀行

軽音楽部のクリスマスセッションにより会場は大いに盛り上がりました。

冬のイルミネーションは2026年1月12日(月・祝)まで開催されます。天神を明るく照らす12mの巨大ツリーとFFGイルミネーションタワーの光のハーモニーをお楽しみください。

空へ。未来へ。真のゆたかさを、かがやきを。

わたしたち、ふくおかフィナンシャルグループが目指すのは、
経済的なゆたかさはもちろん、誰もが安心や幸せを実感し、
地域によりよい循環が生まれるような真のゆたかさです。
そんな想いを込めたFFGイルミネーションタワーは
今年も地域を見守りながら、
穏やかでやさしい光をお届けします。

イルミネーション点灯期間

2025 11/21(金) → 2026 1/12(月祝)

【点灯時間】17:00-23:00 【場所】ふくぎん本店広場
(New Christmas Treeの点灯は22:00まで)



一歩先を行く発想で、地域に真のゆたかさを。

FFG ふくおかフィナンシャルグループ

お問い合わせ ふくおかフィナンシャルグループ文化芸術財団
TEL.092-723-2805

海外展示会 セレクション

HKTDC
Food Expo
2026 (HKCEC)



香港
Hong Kong

展示会概要

HKTDC Food Expo 2026は、今回で36回目を迎える香港貿易發展局(HKTDC)が主催するアジア最大級の食品・飲料業界の展示会です。2025年の開催時は、約1,800社の出展者が36か国地域から集まり、来場者は約50万人と大規模なイベントとなりました。出展品目は、日常的な食品からアルコール類などの飲料、さらに代替タンパク質(植物肉など)まで多岐にわたり、国際食品市場の最新トレンド商品が一堂に集結します。

トピックス

本イベントの特徴は、業界向け商談エリア「Food Expo PRO」とは別に、一般消費者向けのエリア「Public Hall」が併設されている点にあります。食品・飲食業界関係者との商談や出展する企業の最新

動向など情報収集を行えると同時に、一般来場者との交流・販売を通じて現地のテストマーケティングを行える有益なイベントです。

また国別の出展数では、日本が毎年最多となっており、100社以上の日本企業が出展しています。その背景には、香港は長年、日本にとって最大級の農林水産物・食品の輸出先であり、以前から日本食品に関心が高いことが挙げられます。ぜひ、グローバル展開の第一歩としてご利用ください。



展示会開催概要

名称: HKTDC Food Expo 2026 (HKCEC)
開催期間: 2026年8月13日(木)~8月17日(月)
開催場所: 香港コンベンション・エキシビジョン・センター(HKCEC)
所在地: 1 Expo Drive, Wanchai, Hong Kong
URL: <https://www.hktdc.com/event/hkfoodexpo/en>
その他: 【入場資格】ビジネス関係者
【入場方法】公式ウェブサイトからの事前登録
※詳細は主催者へ直接お問い合わせください。

Restaurant
Asia 2026



シンガポール
Singapore

展示会概要

Restaurant Asia 2026は、飲食業界に特化した展示会です。調味料やアルコール飲料、デザートなど、一般的な食品展示会で見られる商材のほか、食器・調理器具、自動配膳ロボットメーカーの出展があるなど、飲食店運営に関連した商品やサービス、技術が多く集結します。なお、本展示会の主催者は世界中で展示会やカンファレンス運営を行うイタリア系の企業です。そのため、食品に関してはコーヒーやチョコレート、ジェラート、ワイン、パンなどの出展が比較的多く見られます。2025年の開催時は約30の国や地域から350を超える出展があり、来場者は1万2千人をこえるなど、シンガポールの飲食業界で注目を集めるイベントとなっています。

トピックス

食品以外の展示では、店舗に関するものとして家具や食器、内装デザインのほか、モバイルオーダーや店内オペレーションシステムなど、ハード・ソフト両面から魅力的かつ効率的な店舗運営をサポートする企業が出展しています。

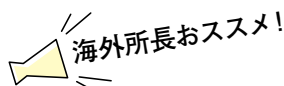
また、自動調理機械や廃棄物処理機械など省人化や環境に配慮した分野の展示があることも特徴の一つです。

シンガポールには世界中から飲食店が集まっており、それらの飲食店をターゲットにした商材やサービスをお持ちの方におすすめの展示会です。































展示会開催概要

名称: Restaurant Asia 2026
開催期間: 2026年7月15日~2026年7月17日
開催場所: Sands Expo & Convention Centre
所在地: 10 Bayfront Avenue, Singapore 018956
URL: <https://restaurantasia.com.sg/>
その他: 【入場資格】ビジネス関係者
【入場方法】公式ウェブサイトからの事前登録
※詳細は主催者へ直接お問い合わせください。



海外現地展示会一覧

	カテゴリー 主要商材	イベント名	開催期間 過去出展数/来場数	イベント概要	公式 サイト
今回 トピック 香港 Hong Kong 	産業 ----- ジュエリー	HKTDC Hong Kong International Jewellery Show 2026 (HKCEC)	2026年3月4日～8日 ----- 約2,300社/約50,000人	世界的に有名な宝飾品・宝石の国際トレードフェアで、オンラインとオフラインのハイブリッド形式で開催。世界中から良質かつ希少なジュエリー完成品が揃う展示会で、宝飾品メーカー、卸売業者、小売業者、デザイナー、バイヤーに向けたプラットフォームを提供。	
	産業 ----- 映画・テレビ	Hong Kong International Film & TV Market (FILMART) 2026	2026年3月17日～20日 ----- 約760社/約7,600人	アジア最大級の映画・テレビおよびエンターテインメント関連の展示会。本イベントは、42の国・地域から業界関係者が集結し、グローバルな業界プレイヤーを結ぶ国際的なイベント。来場者は映画・テレビ制作、配給、販売代理、サービス提供、投資などで、国境を越えた協力や戦略的パートナーシップを構築することも可能。	
	産業 ----- エレクトロニクス	HKTDC Hong Kong Electronics Fair (Spring Edition) 2026	2026年4月13日～16日 ----- 2,300社以上(20ヵ国)/53,149人	本展示会は、世界有数のエレクトロニクス市場として認知されている展示会。各パビリオン毎にジャンルが分かれ、主な展示品は5G・AIoT、スマートホーム、ロボティクス、モバイルアクセサリをはじめ、バーチャルロボット、健康テックなども展示。また、主催者である香港貿易発展局のオンライン商談プラットフォームにより、展示会後も出展者との連携が可能。	
上海 Shanghai 	ホテル・飲食 ----- 食品関係	HOTELEX Shanghai 2026	2026年3月30日～4月2日 ----- 3,826社/284,581人	本展示会は、中国のホテル・飲食業界向け機器・資材・食材・サービスを一堂に集めたプロ向けの展示会。厨房機器、テーブルウェア、コーヒー&ティー、ペーカリー、アルコール飲料、フランチャイズ事業など幅広い分野をカバー。	
	産業 ----- プラスチック、ゴム関連	CHINAPLAS 2026	2026年4月21日～24日 ----- 4,616社/281,206人	世界最大級のプラスチック・ゴム産業展。成形機械や高機能樹脂、リサイクル・バイオ素材、スマート製造技術など最先端ソリューションが集結。脱炭素・循環経済に向けた革新技術交流の場となる。	
	医療・健康 ----- ヘルスケア	CHINA AID 2026	2026年6月4日～6日 ----- 519社/76,591人	上海民政局と上海国際貿易推進委員会が主催する中国最大規模の介護福祉展示会。日本からも自治体、企業の多くが出展。高齢者産業の需要増加に伴い、注目度の高い展示会となっている。	
大連 Dalian 	その他 ----- ギフト・雑貨	Gifts & Home Beijing 2026	2026年3月26日～28日 ----- 900社/39,139人	華北地域におけるギフトおよびホームプロダクトの販路開拓において20年の実績を誇る中国華北地域におけるフラッグシップイベント。新製品が北京に集結し、高品質なギフトサプライヤー、最新デザイン、そして最先端の業界トレンドが一堂に会する。	
	産業 ----- HVAC関連製品	ISH China & CIHE 2026	2026年3月31日～4月2日 ----- 1,030社/77,468人	本イベントは、「HVAC(暖房・換気・空調)ソリューション」「エネルギーソリューション」「水ソリューション」「コンフォートソリューション」「設置とインテリジェンス」の5つの主要分野において、包括的なソリューション、将来の技術トレンド、そして新たな開発機会を展示。参加者には新技術や市場動向に関する貴重な知見を提供する展示会となる。	
	その他 ----- 食品業界関連	2026年青島国際食品加工・包装機械展示会 フード&IT	2026年5月29日～31日 ----- 1,152社/35,000人以上	食品産業のサプライチェーン全体を網羅した展示会。製品の原材料から全体の加工機械や包装設備、計量や仕分/包装、品質検査から倉庫管理、流通、清掃関連と幅広い製品を揃える。	
台湾 Taiwan 	趣味・教育 ----- ギフト・文具	台湾国際クリエイティブギフト&文具見本市(DG Taiwan)	2026年4月16日～19日 ----- 299社/12,308人	台北世界貿易センターが主催するギフトや文具に関する展示会。前回は世界12ヵ国から参加。商品だけでなく、ブランドライセンス、製造、デザインリソースといったサプライチェーン企業が出展。流通業者、EC、百貨店のバイヤーも多数参加する。	
	農林水産・食品 ----- 酒類	2026 台北国際酒展. 純酒展	2026年4月18日～21日 ----- 300社/40,000人	台湾の酒類専門展示会の中で食品や観光など他産業とは合同開催しない唯一の大規模展示会。開催歴は20年超で、台中、台南、高雄でも別時期に開催している。参加者は酒類メーカーやバイヤー等酒類ビジネスに関わる来場者を中心。	
	情報 ----- AIoT	COMPUTEX TAIPEI 2026	2026年6月2日～4日 ----- 1,500社/約85,000人	中華民国対外貿易発展協会(TAITRA)と台北市コンピューター協会(TCA)が主催する台湾最大のAIoTに関する展示会。160ヵ国以上のバイヤー及び業界関係者に加え、エヌビディアやインテルなどの半導体大手企業等も多数参加。	
タイ Tai 	自動車 ----- 自動車関連部品	Bangkok International Motor Show 2026	2026年3月25日～4月5日 ----- 50社以上/1,600,000人	ASEAN地域最大級の国際モーターショー。最先端の自動車技術、自動車、オートバイ、アクセサリなどが展示される。日本の展示会と異なり新車をその場で購入可能。	
	農林水産・食品 ----- 飲料、食品、食品技術	THAIFEX - Anuga Asia 2026	2026年5月26日～30日 ----- 3,000社以上/80,000人	ASEAN地域最大級の食品・飲料、食品技術関連の展示会。タイ国外を含む各国から3,000社以上が出展し、世界中のバイヤーが一堂に集う。	
	産業 ----- 機械・技術	Manufacturing Expo 2026	2026年6月17日～20日 ----- 約2,000社/約88,445人	生産ラインの効率性向上、コストの削減等を目指す製造業向けのイベント。プラスチック製造技術、金型、自動車部品製造機械、自動化および組立技術、表面およびコーティングソリューションの技術を有するブランドが、約30ヵ国から出展。	
ベトナム Vietnam 	産業 ----- 工業製品	VIMF 2026 - Vietnam Industrial & Manufacturing Fair	2026年4月15日～17日 ----- 200社/8,365人	大規模な工業団地や多くの多国籍企業が拠点を置く主要な産業・物流拠点であるハイフォンにて開催される製造業の見本市。金属加工品から3Dプリンター・スキャナー等、幅広い分野の展示が予定されている。	
	産業 ----- 塗料	Coatings Expo Vietnam 2026	2026年6月10日～12日 ----- 306社/6,832人	11回目を迎える本展示会は、ベトナムおよび周辺地域における塗料・カラー・スペクム・印刷インキが展示される予定。当該事業者の貿易を促進し、長期的なパートナーシップを育む、主要なビジネスプラットフォームとしての役割をさらに強化する見込み。	
	趣味・教育 ----- ギフト・文具	VietOffice Expo 2026	2026年7月30日～8月1日 ----- 150社/5,850人	「文房具」「オフィス機器」「オフィス家具」「スマートオフィスソリューション」「教育関連」「オフィスアクセサリ&装飾品」など、多彩で創造的な展示エリアを提供し、文房具・オフィス業界における最新トレンドを発見・導入するためのインスピレーションを企業に提供します。	
今回 トピック シンガポール Singapore 	機械 ----- 航空関連機械など	Singapore Airshow 2026	2026年2月3日～8日 ----- 1500社以上/約50,000人	2年に1回開催されるアジア最大級の航空・宇宙関連(民間機、ビジネスジェット、ヘリコプター、軍用機など)の展示会。世界各国の政府高官や軍関係者、企業の上級幹部が集結。	
	機械 ----- 航空関連機械など	APM 2026 Asia Pacific Maritime	2026年3月25日～27日 ----- 710社/15,717人	2年に1回開催される海事業界(造船(船舶、作業艇)、海洋土木、港湾テクノロジー等)の展示会。日本からは日本海事協会(NK)を中心に船舶関連の部品・塗料メーカーなどで構成されるジャパンパビリオンが出展。	
	その他 ----- 食品、飲食業、サービス業	FHA 2026 - Food & Hospitality Asia	2026年4月21日～24日 ----- 約800社/約32,000人	食品、フードサービス、ホスピタリティ機器・用品の展示会。2025年は4月に「FHA 2025 Food & Beverage」という名称で食品と飲料に特化した内容で実施された。次回2026年は近年別日程で開催されていた食品およびホスピタリティ業界向けの見本市を統合し、大規模に開催予定。	

その他海外の展示会情報は、こちらのJETROサイトをご参照ください。



ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDGsコンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

株式会社 中園 なかぞの

代表取締役 なかぞの ひろみつ
中園 博光氏

取引店／福岡銀行 守恒支店

建築内装のトータルコーディネート企業として、
工事の仕上がりの良さと短納期にこだわり続ける

北九州市内の新築マンションで
約7割のシェア

わが社は福岡県北九州市小倉南区の本社と、福岡市東区の福岡支店の2つの拠点をベースに、新築マンションや公共施設等の内装工事を手掛けています。1974年の創業以来、半世紀をかけて得たスーパーゼネコンをはじめとする建設元受会会社様からの信頼をもとに、西日本地区一帯で工事依頼のお声を掛けていただいています。

現在、内装建具・家具工事業界では、九州・中国地区においてトップクラスの完工高となり、とくに北九州市内の新築マンションにおいては、推計で約7割のシェアを占めるほどになりました。

今から51年前、私の父・中園慧さとしが北九州市内の建設会社から独立し、内装工事を専業とする「中園組」を創業しました。創業当時から工事完成時の仕上がりの良さと納期厳守という仕事ぶりに、新築マンション等の建設元受会企業様からの評判は良く、仕事を受注するたびに次の工事



談笑される中園社長(右)と永洲支店長(福岡銀行、現・福岡流通センター支店長)

依頼を受けるようになりました。

仕事に厳しい父の影響を受け育った私と弟・英次（現・当社専務福岡支店長）、そして姉・栄子（現・当社常務）は、1997年に父から代表を引き継ぎ、3本の矢のごとくお互いに同じベクトルを向き、強い信念をもって会社を成長路線へと導いています。

工事技術と短納期、 高品質な建築資材が特徴

主力事業は新築マンションやオフィスビル、公共施設等の内装工事ですが、分類すると大工工事、家具・建具工事、内装仕上工事といった事業を含んでいます。また持てる工事技術を応用して、自社の従業員向けの住宅や戸建て注文住宅といった建築工事も行っています。工事技術と短納期の実現がわが社の特徴ですが、高品質な柱材や板材などの建築資材を海外から直接調達でき、豊富な在庫を自社倉庫で管理しているところもわが社の他にはありません。わが社は多くの外国人技能実習生を雇い入れていることから、海外と強固なパイプを有していることから、建築資材を輸入業者に頼る必要がありません。しかもすべての資材はトレーサビリティが確保



トレーサビリティのとれた建材が整然と並ぶ菊田資材倉庫

されており、社長である私が自ら海外資材の生産現場を定期的に訪問し、ホルムアルデヒド含有量など生産工程におけるクオリティを確認しているため、居住者様に安心して住んでいただけるのです。

銀行サービスの導入による 課題の明確化

わが社は「国境を越えた「志」で世界に挑戦する」という経営理念をもとに、以前からサステナビリティ経営を実践していますが、さらなるサステナビリティの高みを目指そうと、メインバンクである福岡銀行の支店長から提案を受け、福岡銀行のサービスである「S S Index」と「(FFG)ポジティブ・インパクト・ファイナンス」を活用することにしました。これらの銀行サービスを活用することで、わが社の強みが改めて再確認でき、支店長と担当者を交えて何時間にもわたって事業の内容について詳細に対話し、今後わが社が取り組むべきことを共通課題と位置づけ、KPI（指標）として掲げました。環境面では、スコープ1およびスコープ2によるCO₂排出量削減計画の策定、海外資材のトレーサビリティの重要性を従業員と共有すること、社会面では、



自社で建築した社員寮の共有部分

女性従業員の採用拡大、事業継続計画の策定、労働災害発生件数ゼロの継続、有給休暇の取得日数の増加、さらに経済面として内装工事完成高50億円／年の達成のそれぞれを掲げました。わが社が目指すさらなる高みを福岡銀行が中長期で支援いただけることで、とても安心して成長戦略を描けるようになりました。



社宅に短期宿泊設備を整備

日本一の工事完成高を目指して 取り組むべき課題

現在、国内企業の経営者の大半が頭を悩ませている人材の採用についてですが、わが社では幸いなことに、外国人技能実習生も含め、豊富な人材が多数入社してくれています。わが社の協力会である「TEAM NAKAZONO」を構成する約150名の大工職人から技能の承継をスムーズに行える仕組みづくりが今後は必要になってくるでしょう。これからわが社が目指す高みは、「工事完成高日本一」です。その高みを実現するためには、より多くの優秀な大工職人が



技能工による造作作業

必要となります。そのためには、現場では労働安全衛生の徹底により従業員の健康面を守り、バックアップ業務を行う本社では各種人事規程の制定、設計部門の拡充など、働きやすい職場環境を整備することが望まれます。提供を開始した外国人技能実習生向けの社宅には、母国のご両親が訪ねてきてもいいように短期宿泊設備を整えるなど、他の企業ではないであろう取り組みを始めており、従業員の満足度はかなり高いのではないかと自負しています。ただ現状に甘んじることなく、「TEAM NAKAZONO」でさらなる高みを目指してまいいる所存です。



本社を背景に〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の証、記念楯を贈呈（左から中園社長、永瀬支店長）

株式会社 中園

本 社

- 所 在 地：〒800-0231 北九州市小倉南区大字朽網3914番地の42
- 電 話 番 号：093-53-7510(代表)



福岡支店

- 所 在 地：〒813-0034 福岡市東区多の津2丁目3番4号
- 電 話 番 号：092-624-0500

■事 業 内 容：大工工事業、家具・建具工事業、内装仕上工事業、建築工事業

株式会社中園の〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンスの評価書はこちら



FFGでは企業のESG／SDGsの取り組みを支援しています

FFG公式
チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ
ソリューション事業本部 インダストリーカバレッジグループ
■お問い合わせ：TEL.092-723-2525

サステナビリティに
関することは何でも
ご相談ください

ビジネスマナーの本質

するための実践セミナー～(全3回)

お申込み方法

1. 下記URLか右記の二次元バーコードよりアクセスの上、
該当のセミナーのフォームからお申込みください。



<https://www.ffgbc.com/seminar/>

2. セミナー開催までにお申込み責任者様に「ご案内メール」をお送りします。

対象者

中堅社員以上

定員

32名

受講料	FFG経営者クラブ会員：全3回 49,500円 (税込) /人 会員以外：全3回 59,400円 (税込) /人 ※本セミナーは全3回のシリーズ形式で開催いたします。受講料は3回のセット価格となっており、参加回数に関わらず全額を申し受けます。
受講料の支払方法	原則、DAY1終了後に請求書をお送りいたしますので、 指定口座へお振込みください。 ※一部の回のみご参加の場合でも、返金はいたしかねますので、予めご了承の上お申込みください。
主催	FFGビジネスコンサルティング、福岡銀行、熊本銀行、十八親和銀行

Profile

● Office y Quality 代表 ^{イケ マツ ユ キ} 池松 由紀 氏

【略歴】

「人のちからは大きな価値を生む」をモットーに、組織内のコミュニケーションや接遇品質の改善と医療接遇など、人の可能性を引き出し活かす育成研修、職場の人材育成体制構築のコンサルティングをはじめ、大学でキャリア講義を行う。求める人材像と期待する成果に焦点を合わせた、サポートが強み。前職は大手航空会社グランドスタッフとして約17年勤務。VIPやクレーム対応はじめ責任者としての実務、組織内マネジメントや接客サービス面の品質管理、教育インストラクターとして10年以上従事する。また、空港立ち上げに携わり、業務手順や組織内人材育成などを一から構築することの大変さと経験以上の役割を求められ、周囲と協力しながら必死で乗り越えた経験は今に生きている。

■国家資格キャリアコンサルタント ■特定非営利活動法人日本キャリア開発協会認定 CDA ■日本マナー・プロトコール協会講師養成講座修了 ■ポジティブサイコロジースクール認定 レジリエンストレーナー ■裏千家茶道講師 茶名 宗由



お問合せ・申込先

株式会社FFGビジネスコンサルティング

〒810-0001 福岡市中央区天神2-13-1

TEL 092-723-2244 FAX 092-721-9258

中堅社員のためのビ

～信頼されるビジネスパーソンとな

中堅社員に求められるのは、相手や状況に応じた柔軟な応対力と、信頼を築くマナー^{リョク}力です。このセミナーでは、経験を重ねた今だからこそ、基本を見直し、商談マナーや後輩指導までを体系的に学びます。特に、実践ワークを通じて、相手や場面に合わせた対応や信頼を築く応対力を育てることを目指します。また、日常業務の中で後輩にマナーを伝えるコツや、育成に活かせる関わり方も学びます。経験を力に変え、日々の業務や育成に活かせる“伝わるマナー”を、一緒に磨いていきましょう！

DAY1 経験を力に変える！中堅社員に必要な基本マナーの再確認

Program

- ビジネスマナーの本質と重要性
～中堅社員にとってのマナーの意味～
- 中堅社員としての印象管理術
～3つのVを整える～
- ビジネスマナーの振り返り実践
～表情・挨拶・立ち居振る舞い・身だしなみ・言葉づかい・メール作成を総点検～

2026年 1月23日 金
13:00～17:00

福岡会場 福岡銀行本店4階セミナールーム
福岡市中央区天神2-13-1

DAY2 信頼を築く！商談マナーと応対の実践

Program

- 信頼につながる応対の基本姿勢
～心配り・気配りを応対に活かす～
- 相手や状況に応じた応用力を磨く
ビジネス敬語・伝え方／会話の進め方／電話応対の留意点
- 会社の印象をつくる商談プロセスの実践
事前準備・受付・案内・席次／当日の進行・クロージング／実践ワーク

2026年 2月26日 木
13:00～17:00

福岡会場 福岡銀行本店4階セミナールーム
福岡市中央区天神2-13-1

DAY3 マナー^{リョク}力のある人材を育てる！後輩指導と育成スキル

Program

- ビジネスマナー総合実践
Day1・Day2の内容を踏まえたロールプレイ
- 中堅社員としての印象管理術
～気配り・心配りを広げる～
指導の基本姿勢／マナー力のある人材を育てる視点／お手本の示し方
- 後輩を伸ばす！育成コミュニケーション
3つのVを活かした関わり方／気づきを促すフィードバックの基本／実践ワーク

2026年 3月19日 木
13:00～17:00

福岡会場 福岡銀行本店4階セミナールーム
福岡市中央区天神2-13-1



大会に参加した子どもたちと記念撮影

「第15回 ふくぎん少年少女テニス大会」を 2025年11月1日に開催しました！



テニス大会を通じて
子どもたちの成長を応援

福岡銀行では、生涯学習支援の一環として、2025年11月1日（土）、海の中道マリーナ&テニスにて「第15回 ふくぎん少年少女テニス大会」を開催しました。

本大会は今回で15回目を迎える歴史ある大会です。当日は、福岡県および近郊に在住する小学4年生から6年生までの総勢77名が参加し、男子・女子個人戦（シングルス）によるトーナメント方式で熱戦が繰り広げられました。

福岡銀行テニス部のサポートのもと、子どもたちは真剣な眼差しで、力強いサーブや粘り強いリターンを披露。会場は終始、緊張感と歓声に包まれました。

本大会は、少年少女スポーツの振興を目的としており、今後も地域の子どもの健やかな成長を応援してまいります。



試合の様子



開会式



くじ引きイベント



男子・女子シングルス優勝・準優勝の4名



大会を楽しむ参加者たち

長崎だより

長崎の情報を
お届けします

一步の姉妹誌「ながさき経済」を発刊している、ふくおかフィナンシャルグループの長崎経済研究所。長崎の旬な情報を提供するコーナー「長崎だより」の今月号は、同研究所の調査研究レポートのなかから、「神田雅楽」を紹介します。

長崎経済研究所による「ながさき経済web」随時更新中!



当研究所が発信する最新の情報をメールでお届けします。

メールマガジンの登録はこちら▶



お問い合わせ

株式会社長崎経済研究所

長崎市銅座町1番11号
十八親和銀行本店内
TEL095-828-8859



ながさき経済web画面

長崎経済研究所とは

長崎県の経済・社会・産業動向などに関する調査研究及び企業経営や県民の生活のお役に立つ情報をご提供するとともに、各種経済・文化団体の事務局活動等を通じて、地域社会に貢献することを目指しております。



神田雅楽

長崎経済研究所 調査研究部 泉 猛



観月会 (写真提供: 佐々町社会福祉協議会)

静かに息づく、生きた伝統

—— 佐々町に伝わる

神田雅楽 (町指定無形文化財)

長崎県北部にある佐々町は、古くは交通の要衝として栄え、歴史の節目ごとに人と文化が行き交った町です。その佐々町で、伝統芸能「神田雅楽」を守り伝えているのが、大浦源次氏を代表とする同雅楽の継承団体です。地域の宝とも言える「神田雅楽」を、演奏活動を通して次世代へ受け継いでいます。

120年を

超えて奏でられる音色

神田雅楽の歴史は1902年(明治35年)、佐賀県西有田町曲川(現在の佐賀県有田町)の法泉寺の僧、桃谷自牽和尚から、佐々町にある正福寺の門徒に伝えられたことに

始まります。それ以来、同雅楽は佐々町で開催される年忌法要や彼岸行事、慶事・弔事などで演奏され、

人々の暮らしに寄り添う文化として根付いてきました。

戦時中は、担い手の召集が相次いだことから、一旦、途絶えてしまいました。しかし、地域の神田雅楽への強い思いによって、1955年(昭和30年)の正福寺本堂再建50年祭を契機に、平戸や京都の専門家の協力を得て楽器の修理・調達を進め、かつての響きを取り戻し復活しました。復活後は正福寺の年4回の法要や町の招魂祭、観月会などの行事で演奏されています。

規模が小さいながらも、120年以上の歴史を持つ神田雅楽は、一人ひとりの熱意によってその貴重な音色を今に伝えており、地域の中で静かに息づく伝統文化として、その存在は確かな価値と重みを備えています。

雅な調べを未来へ

神田雅楽で使われる楽器は、太鼓や鉦鼓、龍笛、鳳笙、箏などの伝統



ながさきピース文化祭2025 雅楽の祭典(写真提供:佐々町)

楽器です。「越天楽」や「抜頭」といった古典的な曲が演奏され、厳かな旋律が空間を包み込みます。その音色は静寂に溶け込み、聴く人の心を穏やかに整えてくれるなど、まさに儀式や祭典にふさわしい格式を備えた音楽と言えます。

1982年(昭和57年)10月、神田雅楽は佐々町の無形文化財に指定されました。現在も代表の大浦氏を中心に、演奏指導など、雅楽の未来につながるための活動を続けています。昨年(2024年)11月には、佐々小学校において雅楽の歴史や楽器についての話や演奏を行い、子どもたちに興味や関心を持ってもらえるよう伝統文化の継承に取り組んでいます。

長崎で開催された「ながさきピース文化祭2025(第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭)」では、11月9日(日)に佐々町文化会館大ホールにて、地域文化発信事業として『雅楽の祭典』が開催されました。神田雅楽も祭典に参加

し、伝統の響きを多くの聴衆に届け、華を添えました。当日は、120年以上受け継がれてきた美しい調べとともに、佐々町の伝統文化の息吹を間近に感じられる、貴重な機会となりました。



▲ 有田 色絵松波文扇形皿 18世紀
W28.5 H 8.5 φ19 cm
高台:H1.2 φ10.8cm

十八親和アートギャラリー
Juhachi Shinwa Art Gallery

学芸員
便り

当館で所蔵する作品を紹介します

扇子を開いた器形が目を引く《色絵松波文扇形皿》は、中央に波を表現した青海波文と複数の松がリズムカルに配されています。その両サイドには、菱格子文に鳳凰や唐花など華やかな絵付けが施され、扇の骨は白磁に金を用いて丁寧な表現されています。

吉祥文様である青海波文には繁栄や災厄除け、松文には生命力の象徴や長寿、菱文には子孫繁栄や無病息災などの願いが込められています。それが、末広がりで縁起物として親しまれる扇と合わさる本作は、豪華さの中に希望や他者を思いやる心が感じられます。

本作は、江戸時代にヨーロッパへ輸出された磁器を紹介する陶磁器展示室1にて公開しています。また、陶磁器展示室2において「追悼 井上萬二展」秀麗なる磁器の世界」を2月28日(土)まで開催しているほか、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアイコンなど約140点の常設展示も行っております。

*企画展の会期は、次回展の都合により変更する場合があります。

(十八親和アートギャラリー学芸員 藤松綾子)

十八親和
アートギャラリー

開館時間: 10:00~16:00(入館は15:30まで)

休館日: 日・月・祝日、年末年始(12/30~1/4)

※土曜日が祝日の場合は開館

長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F

鑑賞無料

TEL0956-23-4856

西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分

JR佐世保駅から徒歩約20分

